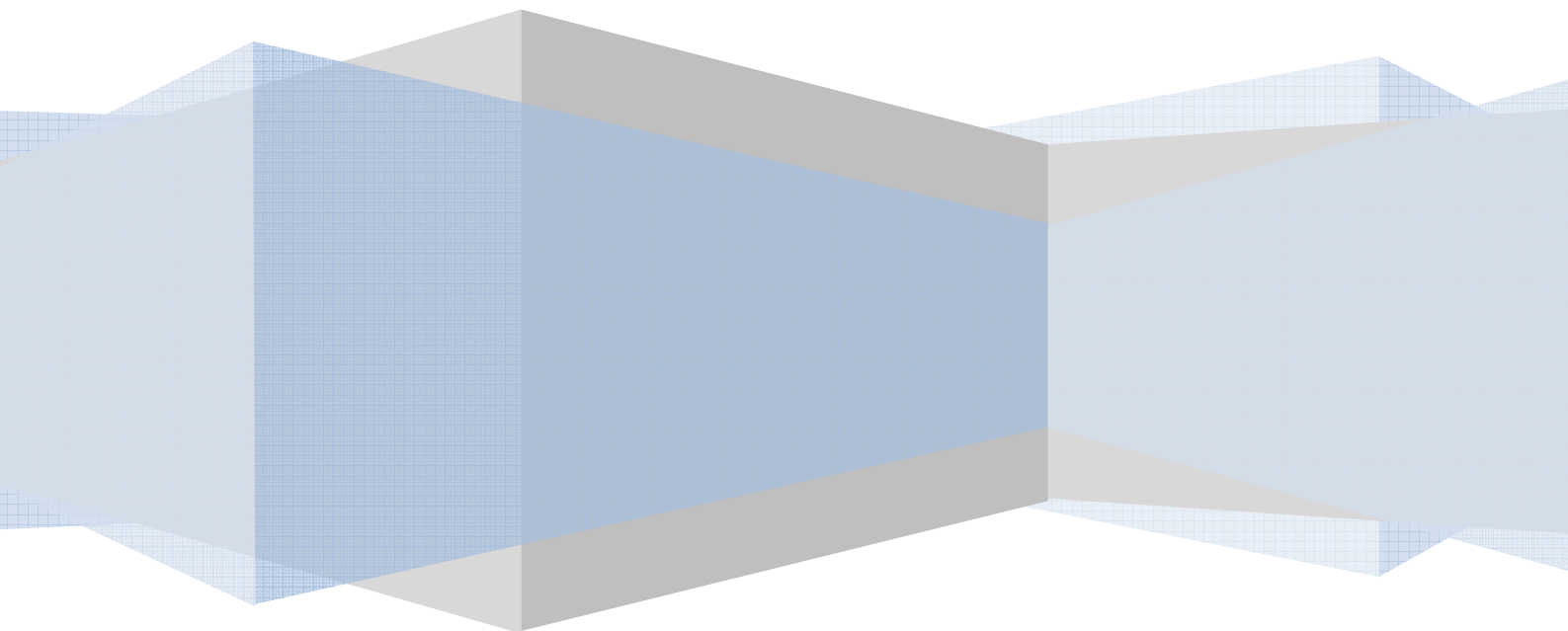


Rev 1.0

Class Demo Manager

ユーザーマニュアル

Naoyuki Aoi (Japan Overseas Cooperation Volunteer)



Contents

1. ソフトウェア概要.....	3
1-1. ソフトウェア動作環境	3
1-2. Class Demo Manager の仕組み	4
2. インストール方法.....	6
2-1. Windows 機能の IIS を有効化	7
2-2. ネットワークの環境設定	9
2-3. Class Demo Manager のインストール	12
2-3-1. Class Demo Manager のインストール手順	12
2-3-2. Class Demo Manager の設定	16
2-4. タスクスケジューラの設定	17
2-5. Windows ファイアウォールの規則追加	26
3. Class Demo Manager の機能	32
3-1. 管理者モード	32
3-1-1. ソフトウェアを管理者モードで実行する	32
3-1-2. ソフトウェア設定情報	34
3-2. クライアントモード	38
3-3. ProcessCheck.exe について.....	39

1. ソフトウェア概要

Class Demo Manager はコンピュータールームでの実習授業におけるデモンストレーションのためのソフトウェアです。

このソフトウェアはフルスクリーンモード、透過スクリーンモード(transparent-screen)、通常ウィンドウモード(movable-screen)の3通りのデモンストレーションモードがあります。フルスクリーンモードでは講師(以降、管理者とする)のコンピュータ画面を生徒(以降、クライアントとする)のディスプレイにフルスクリーンで表示し、生徒は目の前のコンピュータの操作が不可となります。透過モードでは管理者の画面をクライアント側ディスプレイに小さな半透明ウィンドウとして表示します。クライアントは他のアプリケーション等の操作が可能ですがウィンドウは常に最善面に表示されます。通常ウィンドウモードは通常のウィンドウとして管理者の画面を表示するためクライアントはウィンドウサイズを変更したりウィンドウの位置を変更したりすることが可能です。

1-1. ソフトウェア動作環境

このソフトウェアを実行するには下記の環境・機能が必要です。

OS: Windows 7 以降

ソフトウェア: Microsoft .NET Framework 4.0 以降

IIS(Internet Information Services) 7.5 以降

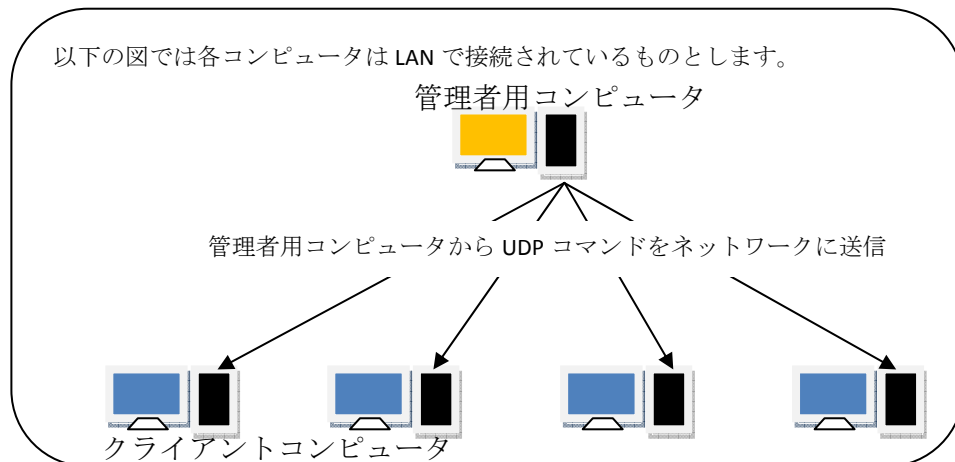
ネットワーク: LAN 環境

このソフトは N-Computing 社製のシンクライアント環境などにも対応しています。

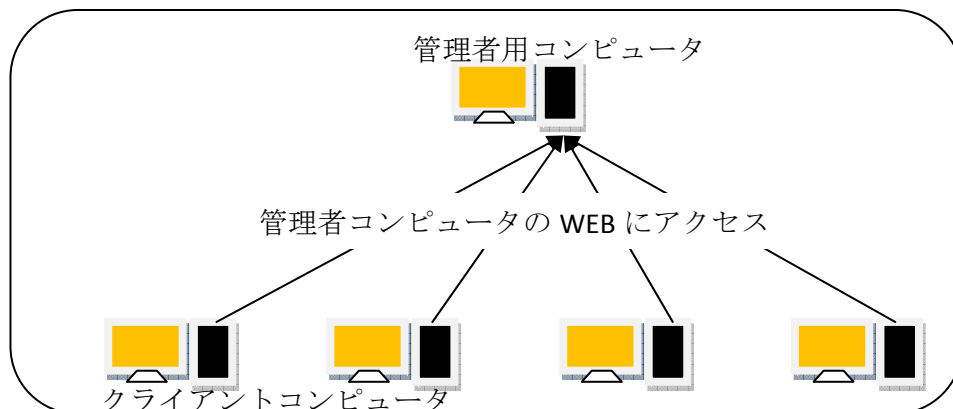
1-2.Class Demo Manager の仕組み

このソフトウェアはネットワークプロトコルを利用しており、管理者のコンピュータは Web サーバーとして動きます。

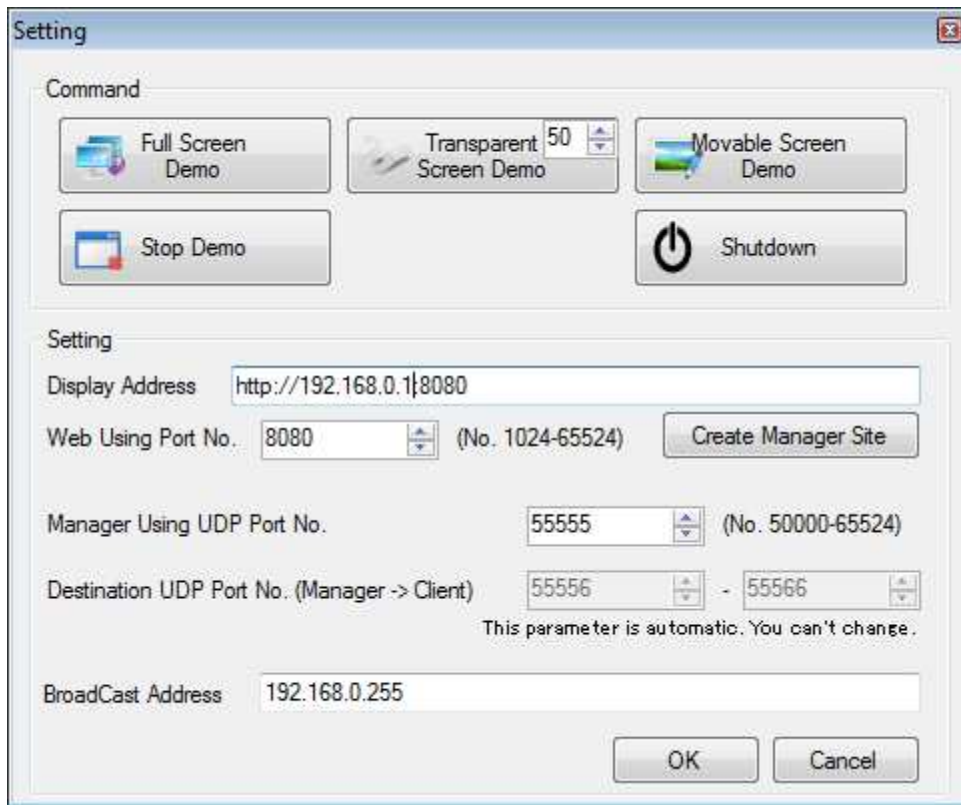
まず始めに管理者のコンピュータからネットワーク上にコマンドを送信します。



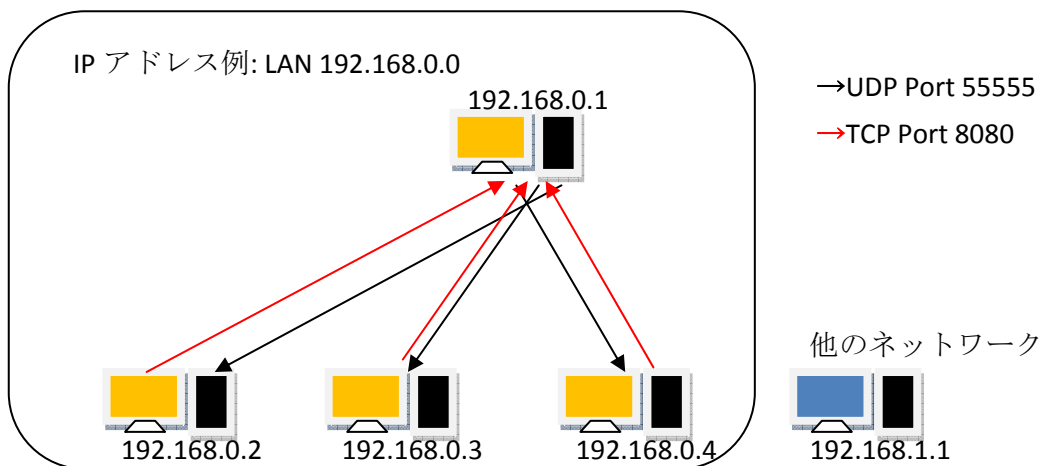
クライアント側はコマンドを受信した後、管理者コンピュータに用意された管理者の画面が表示される WEB ページにアクセスすることで管理者の画面を表示します。



例：以下はソフトウェアの設定画面です。



上記の設定は下記の環境での設定となります。

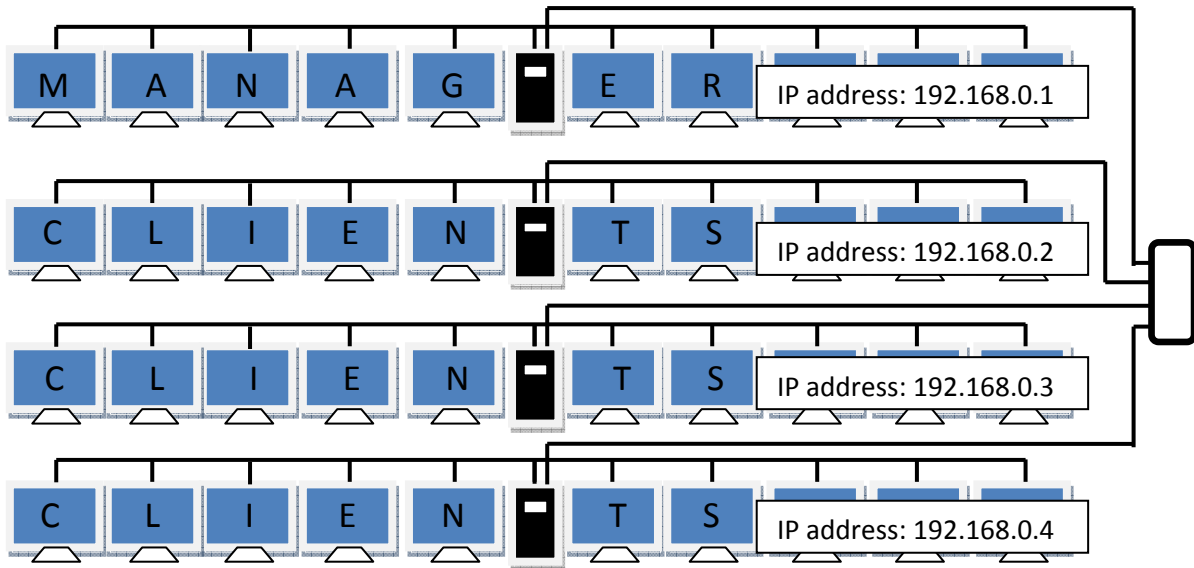


2. インストール方法

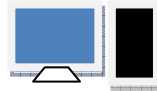
このソフトウェアではさまざまな機能が必要なため、以下の手順に従い必要な機能をインストールしてください。

このインストール手順は以下に示す環境を想定しています。

インストール環境例(シンクライアントサーバーシステム サーバー4台 クライアント36台)



構成機器



サーバー



クライアント



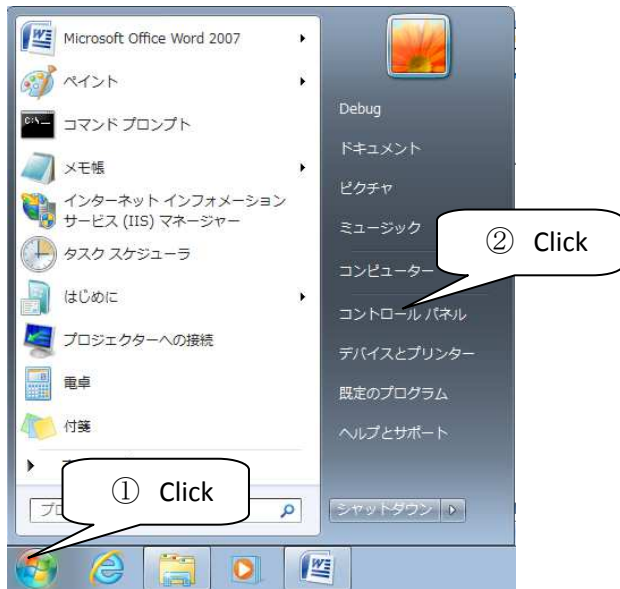
ルーター

/スイッチングハブ

2-1. Windows 機能の IIS を有効化

この設定は管理者用コンピュータのみ必要です。

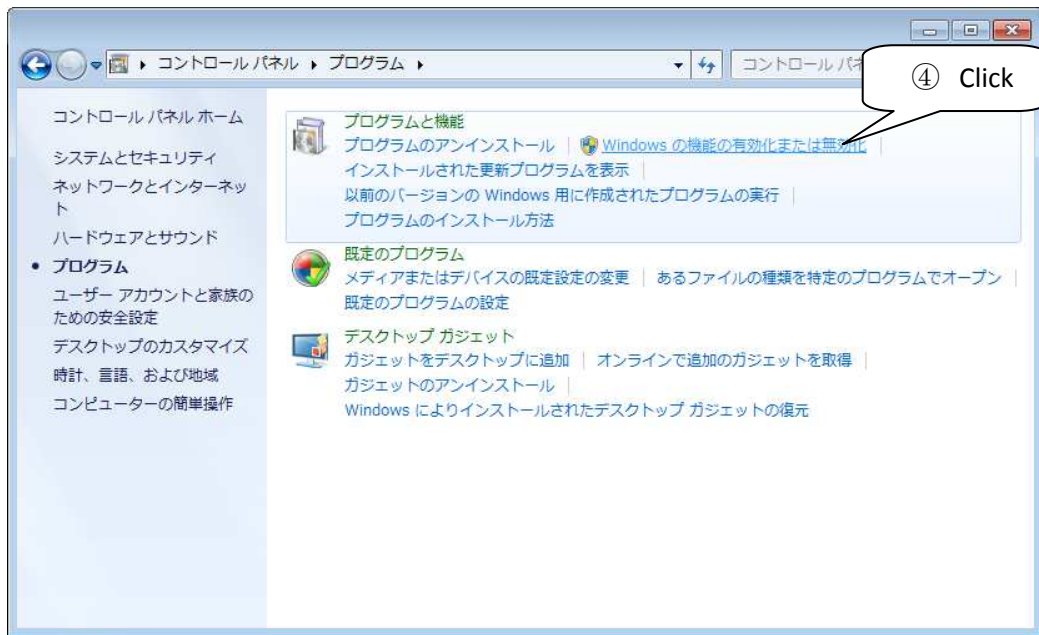
- ① [Windows スタートメニュー]をクリックします。
- ② [コントロールパネル]をクリックします。



- ③ [プログラム]をクリックします。

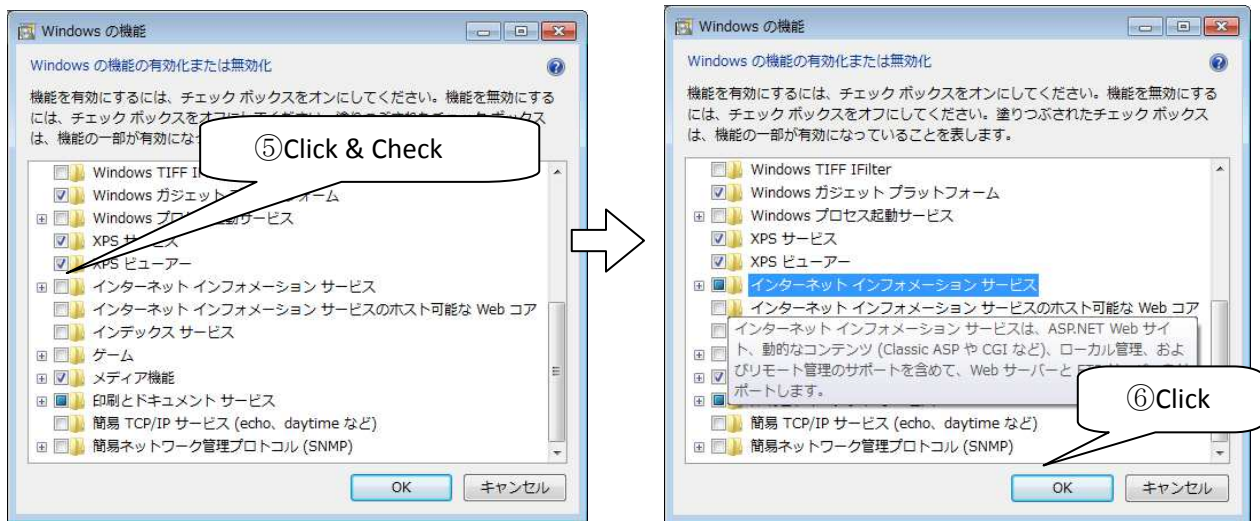


④ [Windows の機能を有効化または無効化]をクリックします。



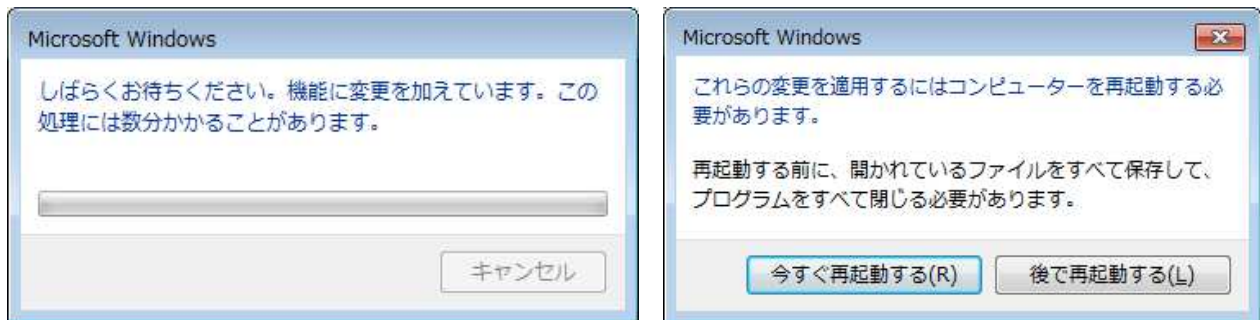
⑤ [インターネットインフォメーションサービス]をクリックしチェックをいれます。

⑥ [OK]をクリックします。



⑦ 変更が反映されるまで待ちます。下図のウィンドウ表示が消えたら完了です。

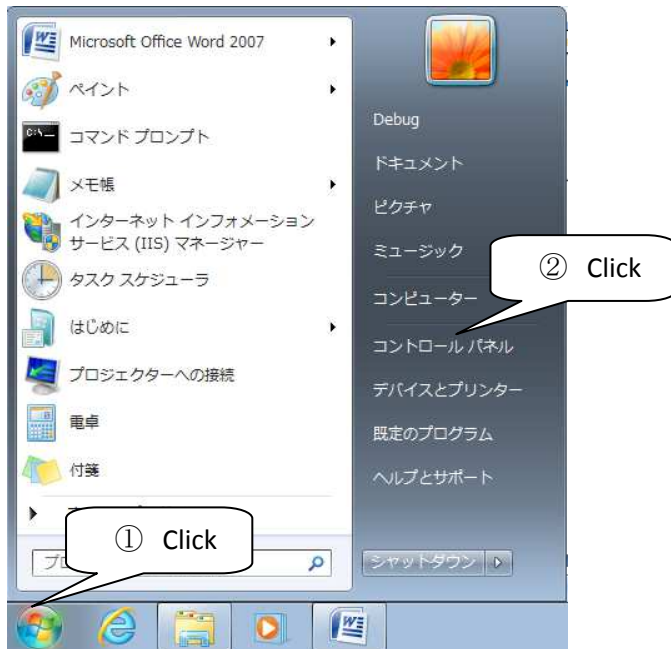
再起動メッセージが表示された場合は再起動してください。



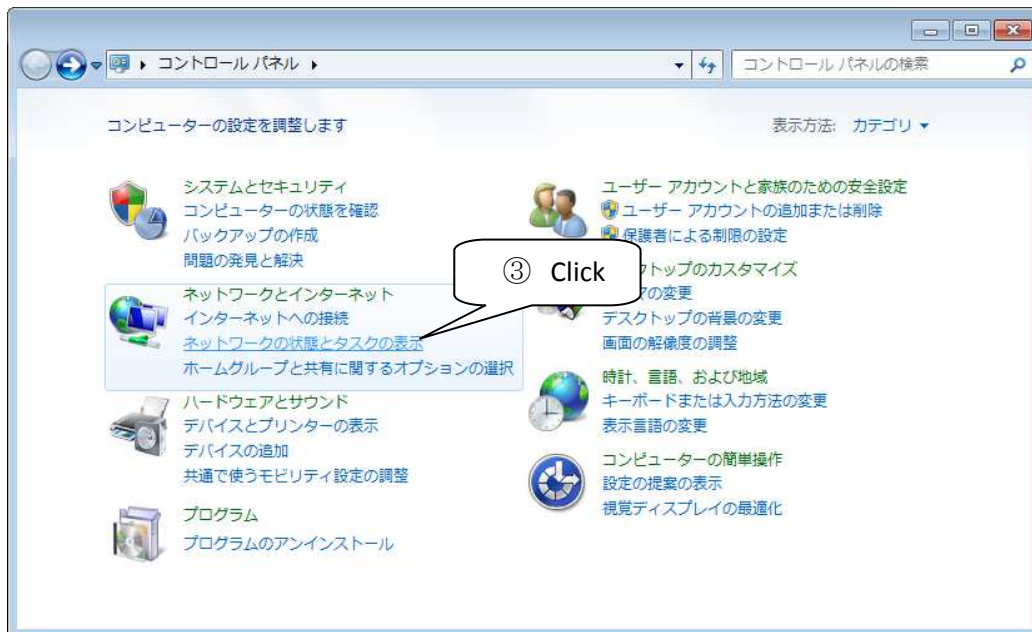
2-2. ネットワークの環境設定

この設定は管理者、クライアント全てに必要です。

- ① [Windows スタートメニュー]をクリックします。
- ② [コントロールパネル]をクリックします。



- ③ [ネットワークの状態とタスクの表示]をクリックします。



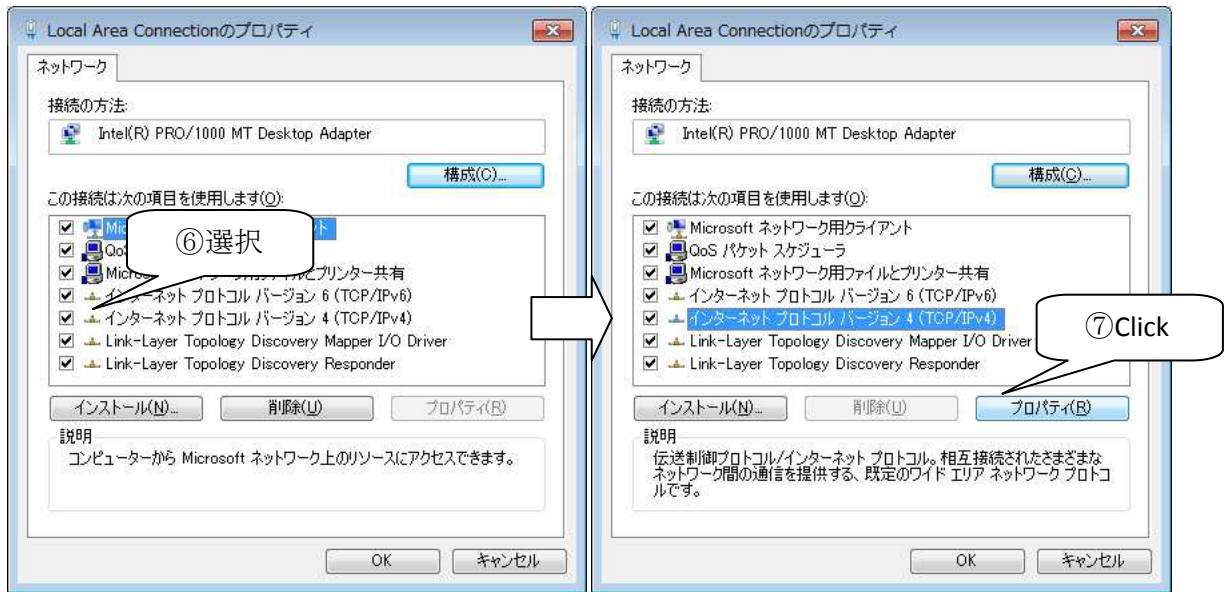
- ④ [Local Area Connection]をクリックします。



- ⑤ [プロパティ]をクリックします。

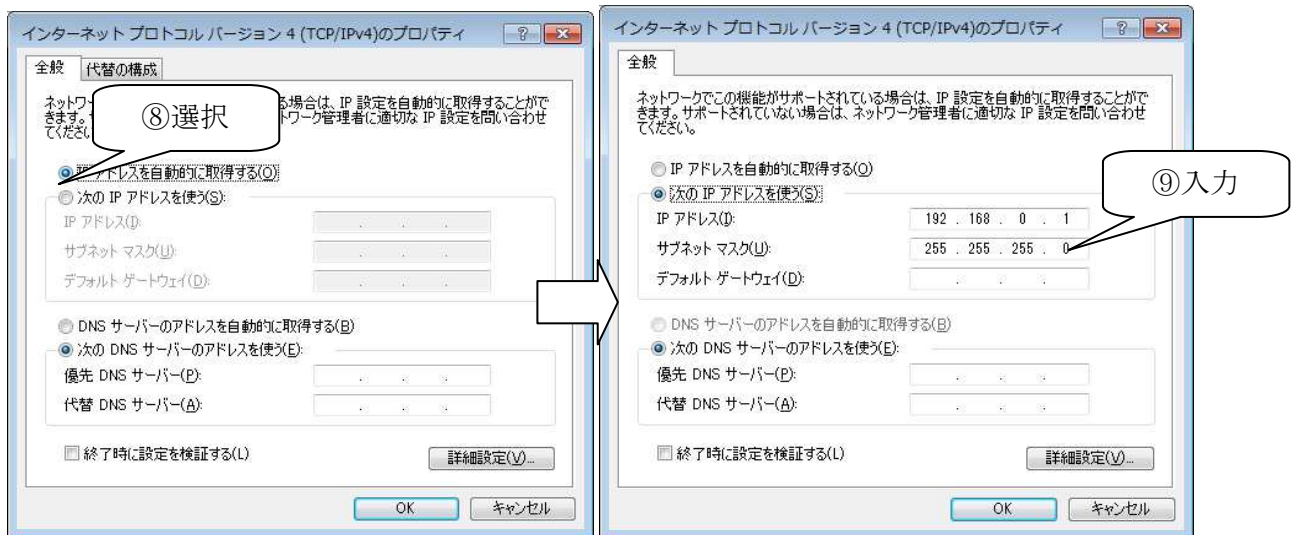


- ⑥ [インターネット プロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)]を選択します。
- ⑦ [プロパティ]をクリックします。

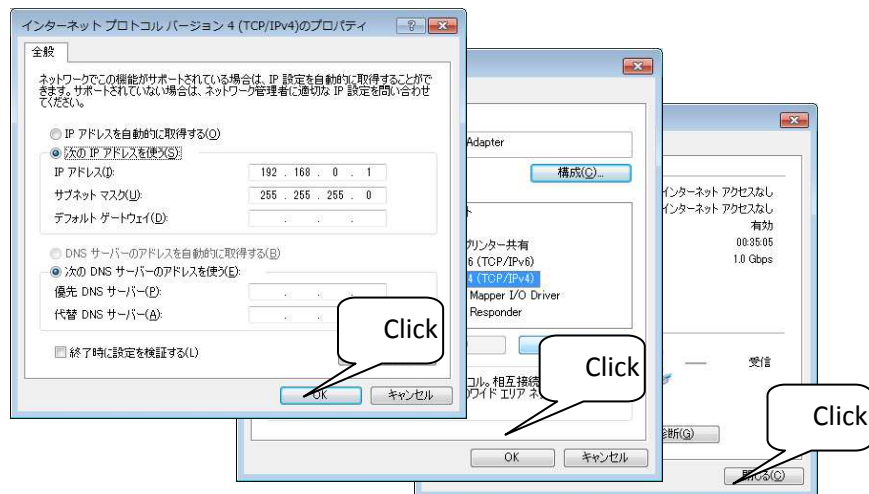


- ⑧ [次の IP アドレスを使う]を選択します。
- ⑨ ローカルエリアネットワークのアドレスを設定します。

例 管理者サーバー: 192.168.0.1 (Subnet mask : 255.255.255.0)
 クライアント用サーバー3台:
 192.168.0.2 ~192.168.0.4 (Subnet mask : 255.255.255.0)



- ⑩ OK ボタン等で開いた設定ウィンドウを全て閉じます。



2-3.Class Demo Manager のインストール

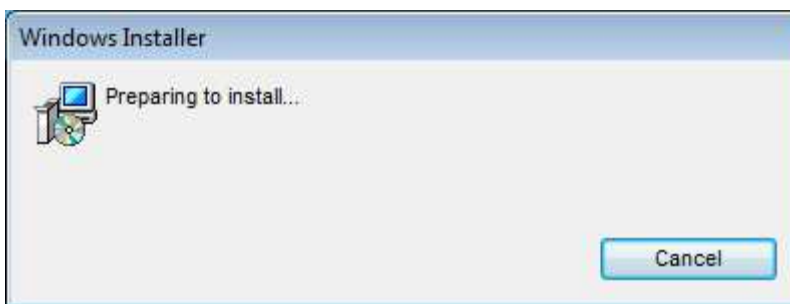
2-3-1. Class Demo Manager のインストール手順

この設定は管理者、クライアント全てに必要です。

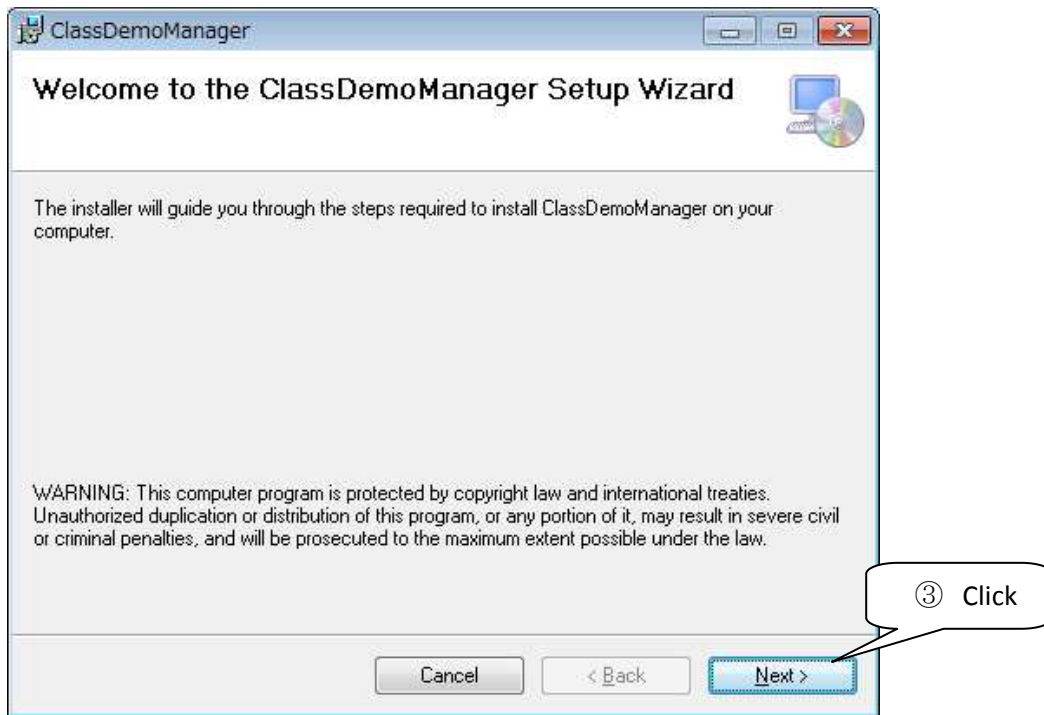
- ① Setup.msi(Class Demo Manager インストーラ)をダブルクリックしインストーラを起動します。



- ② インストーラが準備されるまで少し待ちます。



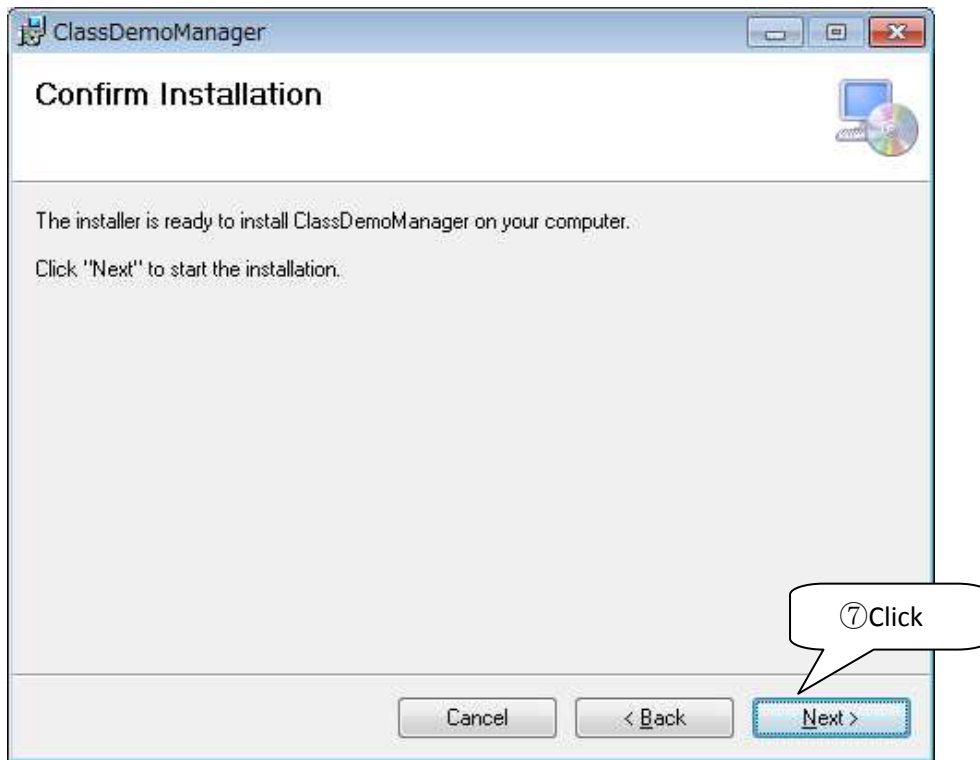
- ③ [Next]をクリックします。



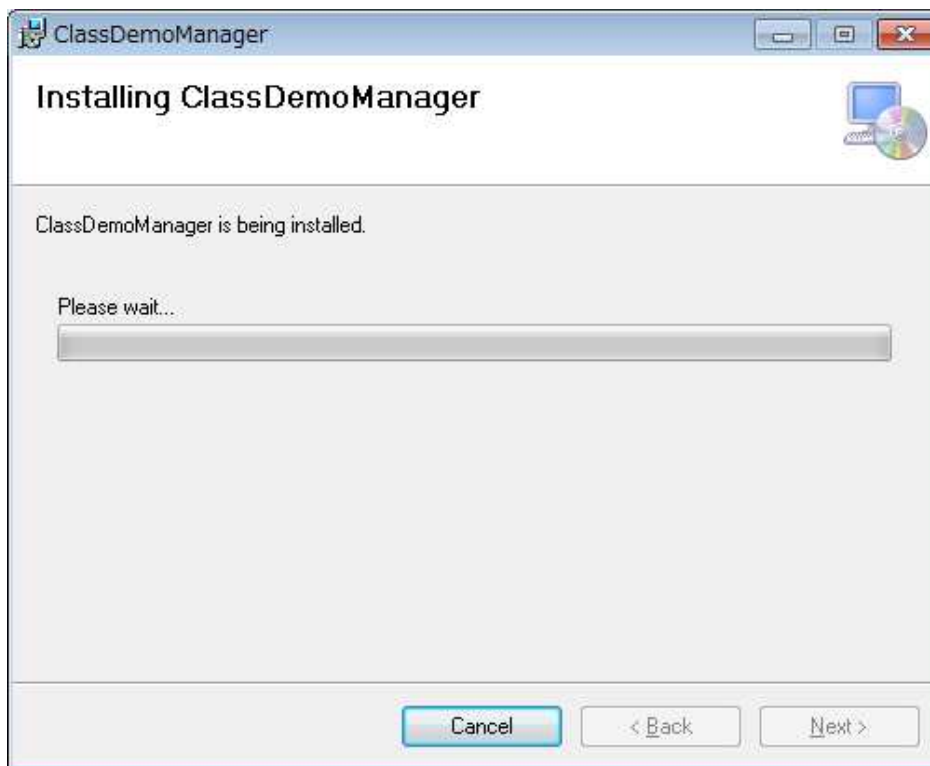
- ④ インストール先のフォルダを変更する場合は[Browse]をクリックします。
変更しない場合はこの手順はスキップします。
- ⑤ [Everyone]を選択します。
- ⑥ [Next]をクリックします。



⑦ [Next]をクリックします。



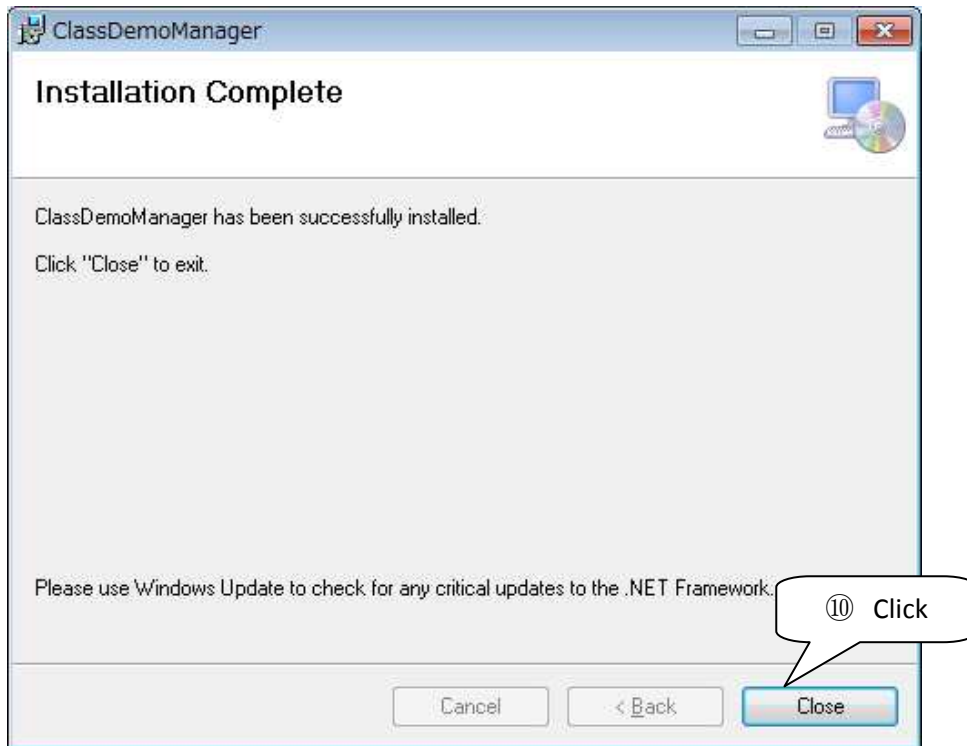
⑧ インストールが完了するまで待ちます。



⑨ [はい]をクリックします。



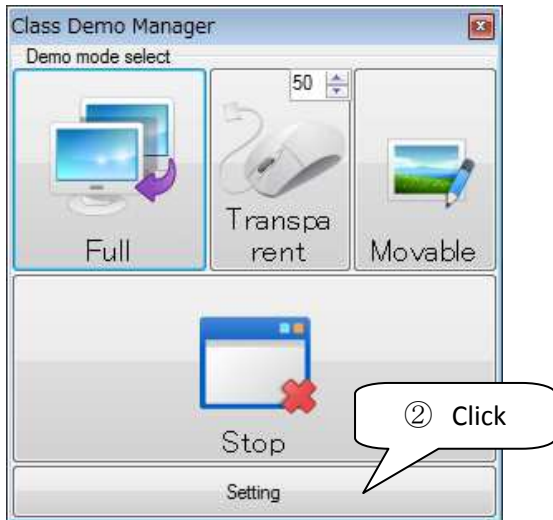
⑩ [Close]をクリックします。



2-3-2. Class Demo Manager の設定

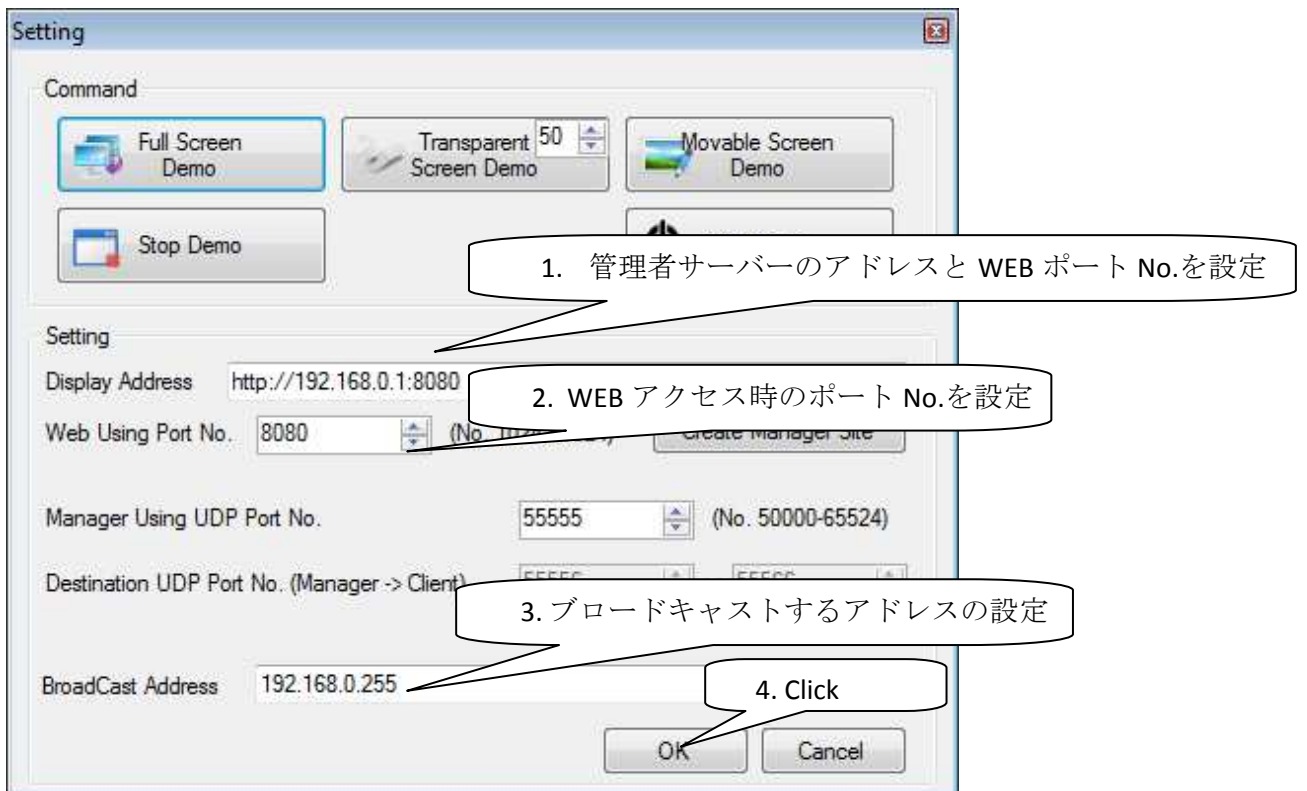
この設定は管理者、クライアント全てに必要です。

- ① ソフトウェアを管理者権限で実行します。
項目 3-1-1 「ソフトウェアを管理者モードで実行する」 参照。
- ② [Setting] をクリックします。



- ③ Setting を環境に合わせ設定

- Display Address
- Web Using Port No.
- BroadCast Address

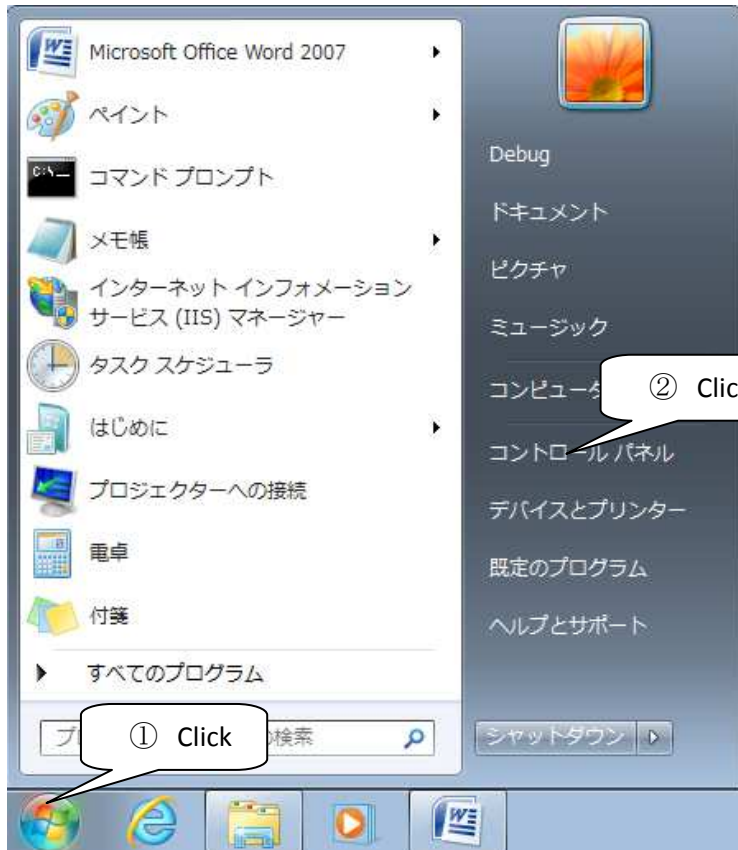


2-4. タスクスケジューラの設定

この設定は全てのクライアントで必要です。(本マニュアルで例示した環境の場合、管理者サーバもクライアントを兼ねるため全てに設定します。)

クライアントがログオンした際にソフトウェアが自動的に実行されるようタスクスケジューラの設定を行います。

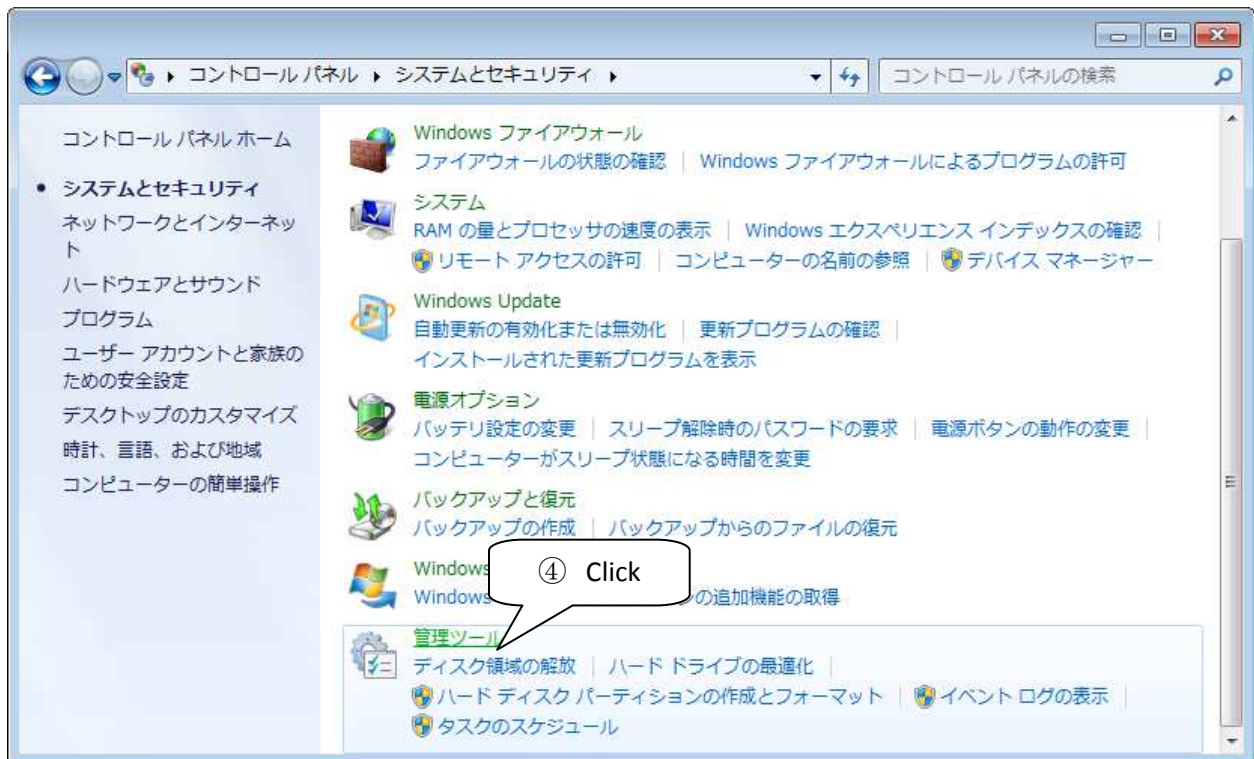
- ① [Windows スタートメニュー]をクリックします。
- ② [コントロールパネル]をクリックします。



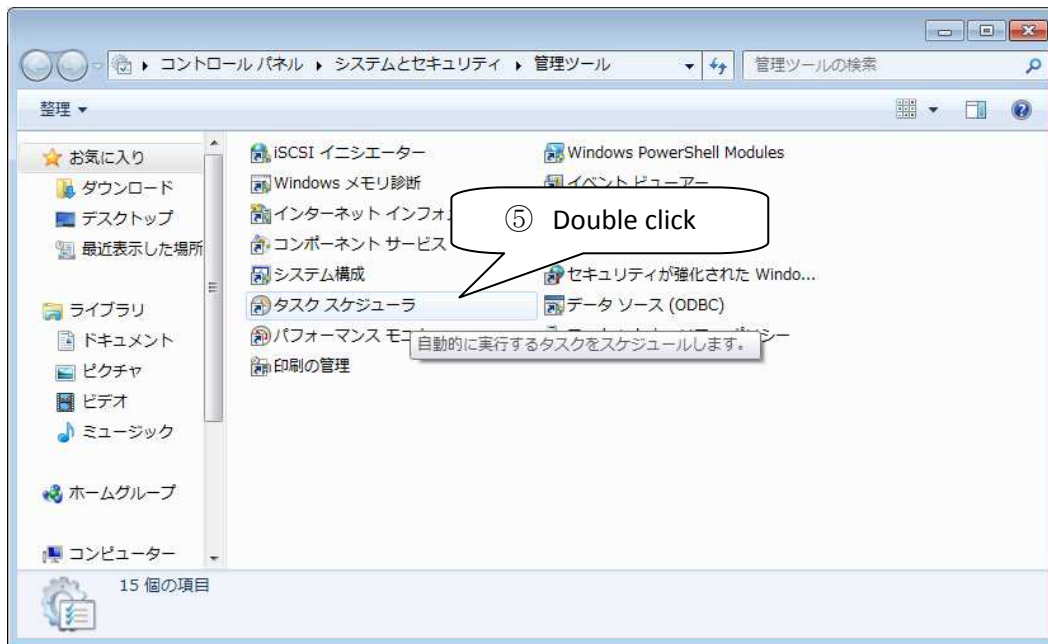
③ [システムとセキュリティ]をクリックします。



④ [管理ツール]をクリックします。

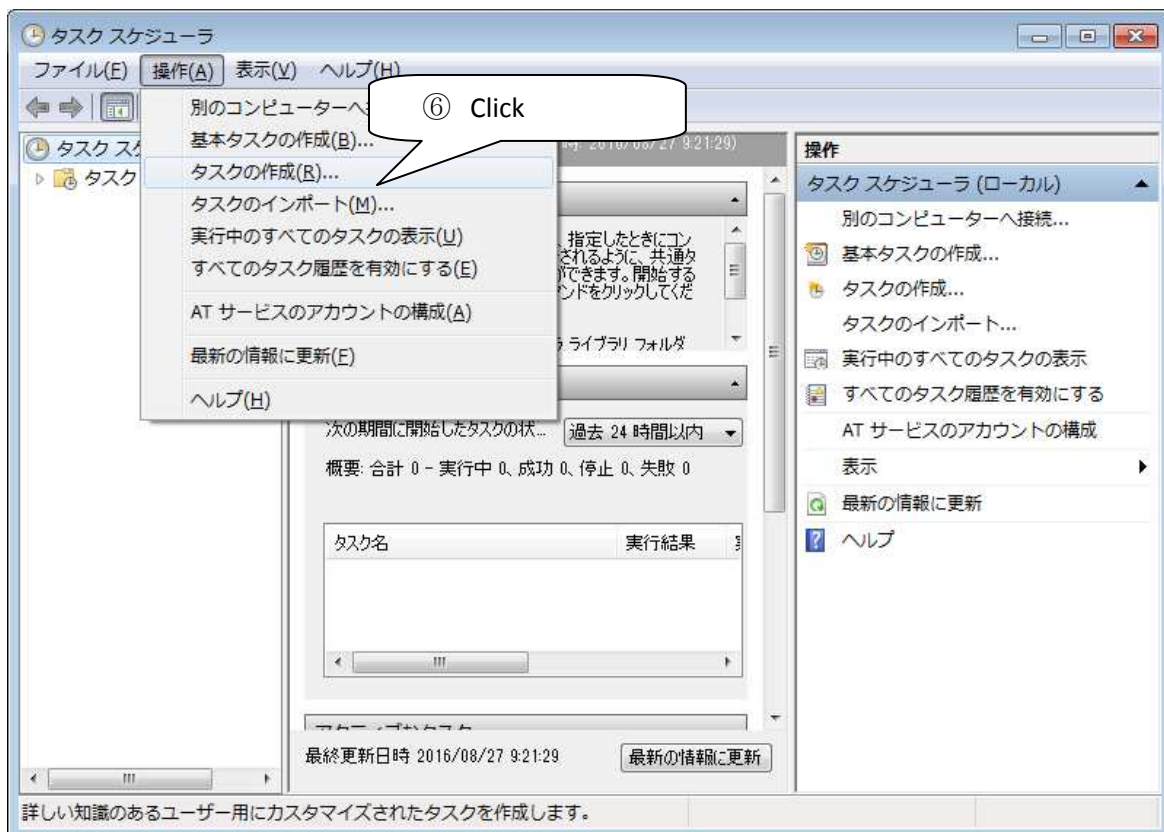


⑤ [タスクスケジューラ]をダブルクリックします。

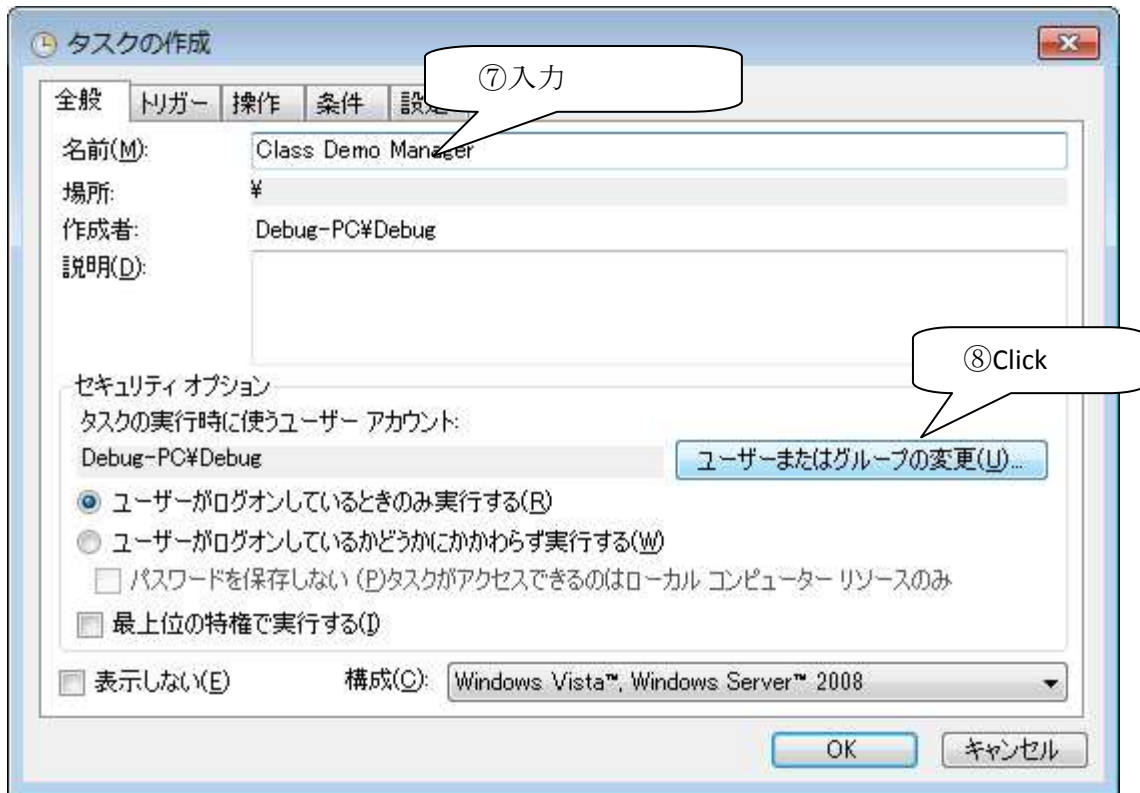


タスクの作成

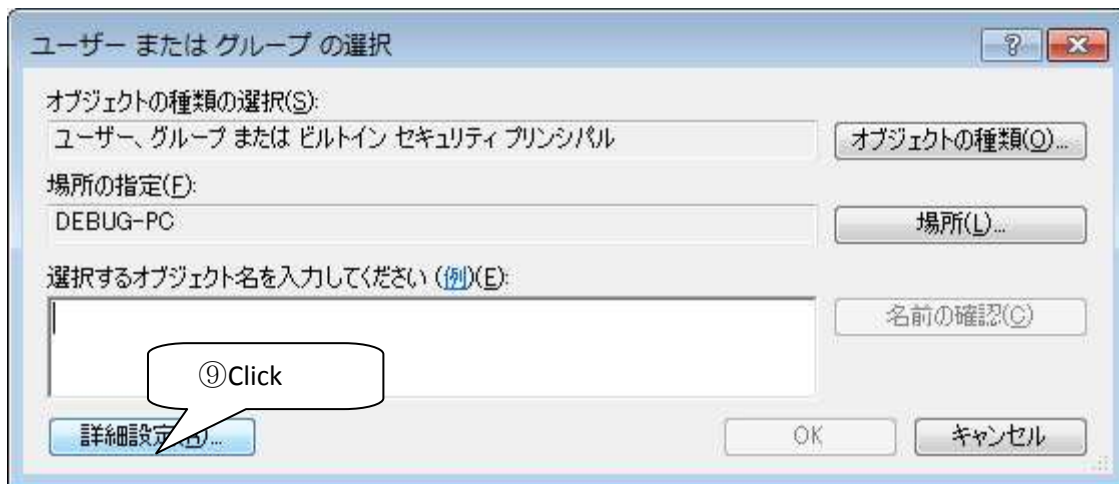
⑥ [操作] メニューの[タスクの作成]をクリックします。



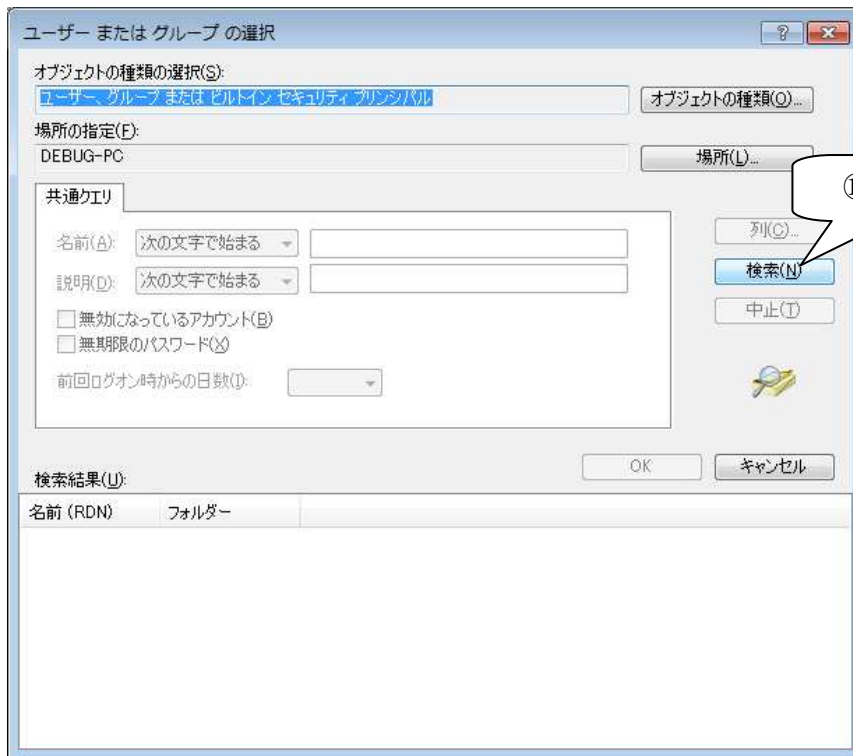
- ⑦ タスクの[名前]を入力します。
- ⑧ [ユーザーまたはグループの変更]をクリックします。



- ⑨ [詳細設定]をクリックします。

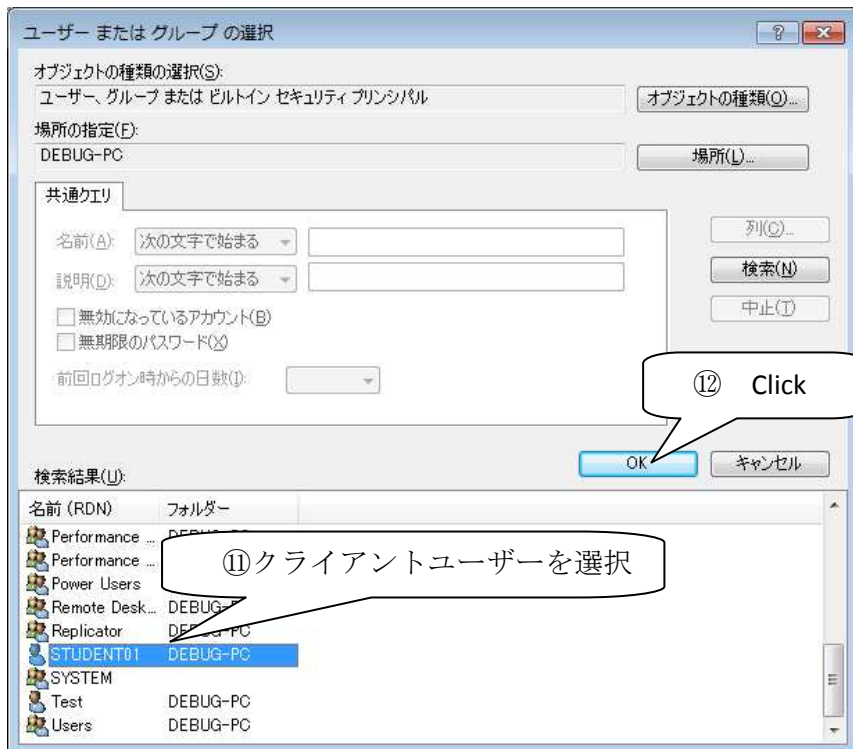


⑩ [検索]をクリックします。

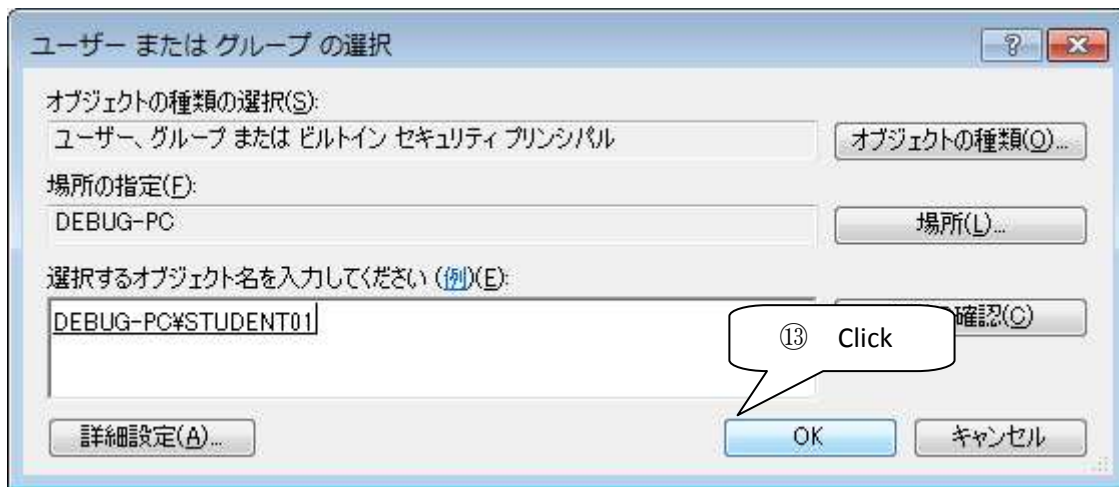


⑪ クライアントユーザーを選択します。例：STUDENT01

⑫ [OK]をクリックします。



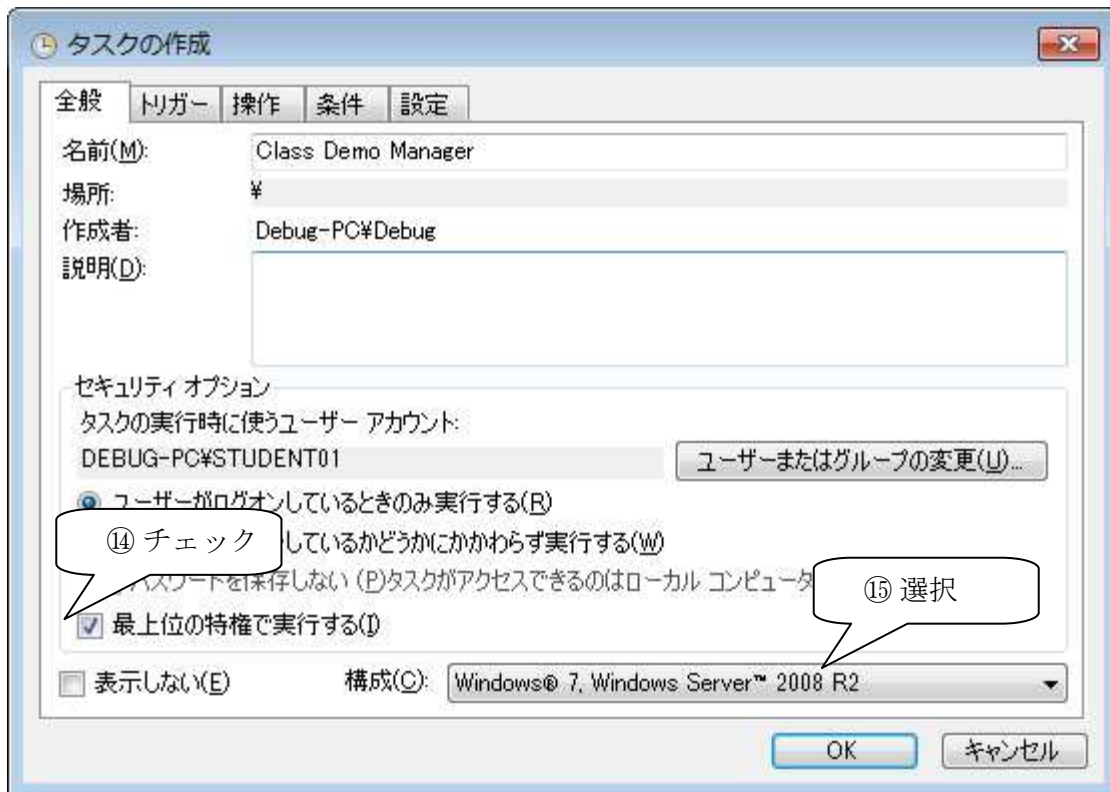
- ⑬ [OK]をクリックします。



- ⑭ [最上位の特権で実行する]にチェックを入れます。

このソフトは最上位権限が必要となります。

- ⑮ 実行環境に合わせ[構成]を選択します。



- ⑯ [トリガー] タブを選択します。
- ⑰ [新規]をクリックします。



- ⑱ タスクの開始: [ログオン時]を選択します。
- ⑲ [特定のユーザー]を選択します。
- ⑳ [ユーザーの変更]をクリックし、手順 ⑨～⑬と同様に設定します。
- ㉑ [OK]をクリックします。



② [操作] タブを選択します。

③ [新規]をクリックします。



⑳ 操作: [プログラムの開始]を選択します。

㉑ [参照]をクリックし、インストールした Class Demo Manager を選択します。

"C:\Program Files\AOISoft\ClassDemoManager\ClassDemoManager.exe"

㉒ [引数の追加] フィールドに数値入力

このソフトウェアは使用する UDP ポート No.をここで指定する引数で切り替えます。1~11の値をユーザー毎に別々になるように入力してください。

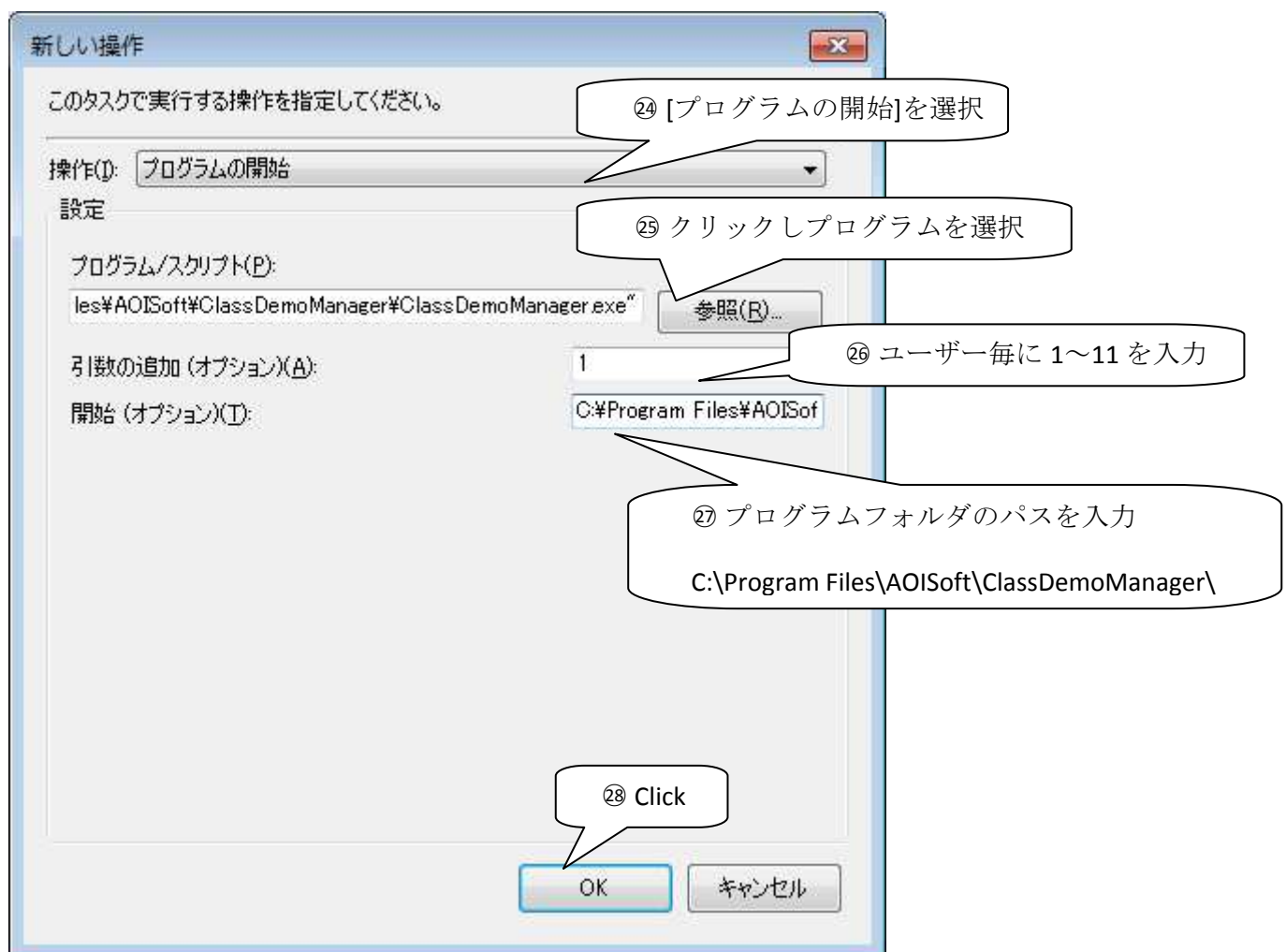
※この設定はシンクライアントシステムの場合のみ必要です。スタンドアロンでは UDP ポートを切り替える必要はありません。

㉓ [開始]フィールドにプログラムフォルダを入力します。

このプログラムでは関連する ProcessCheck.exe を実行するためにフォルダの指定が必要になります。

C:\Program Files\AOISoft\ClassDemoManager\

㉔ [OK]をクリックします。



㉕ 手順 ⑥~㉔ をユーザーの分だけ繰り返し設定します。

2-5. Windows ファイアウォールの規則追加

この設定は**管理者用コンピュータのみ**必要です。

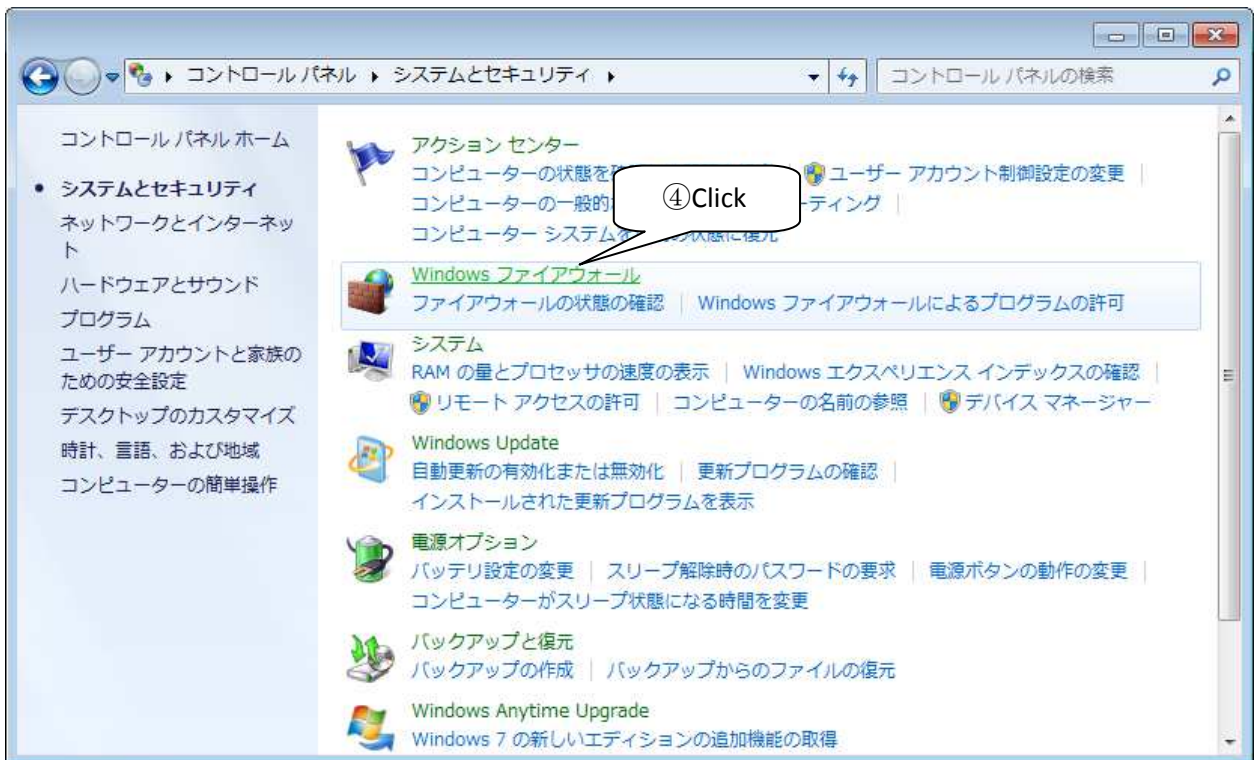
- ①[Windows スタートメニュー]をクリックします。
- ②[コントロールパネル]をクリックします。



- ③[システムとセキュリティ]をクリックします。



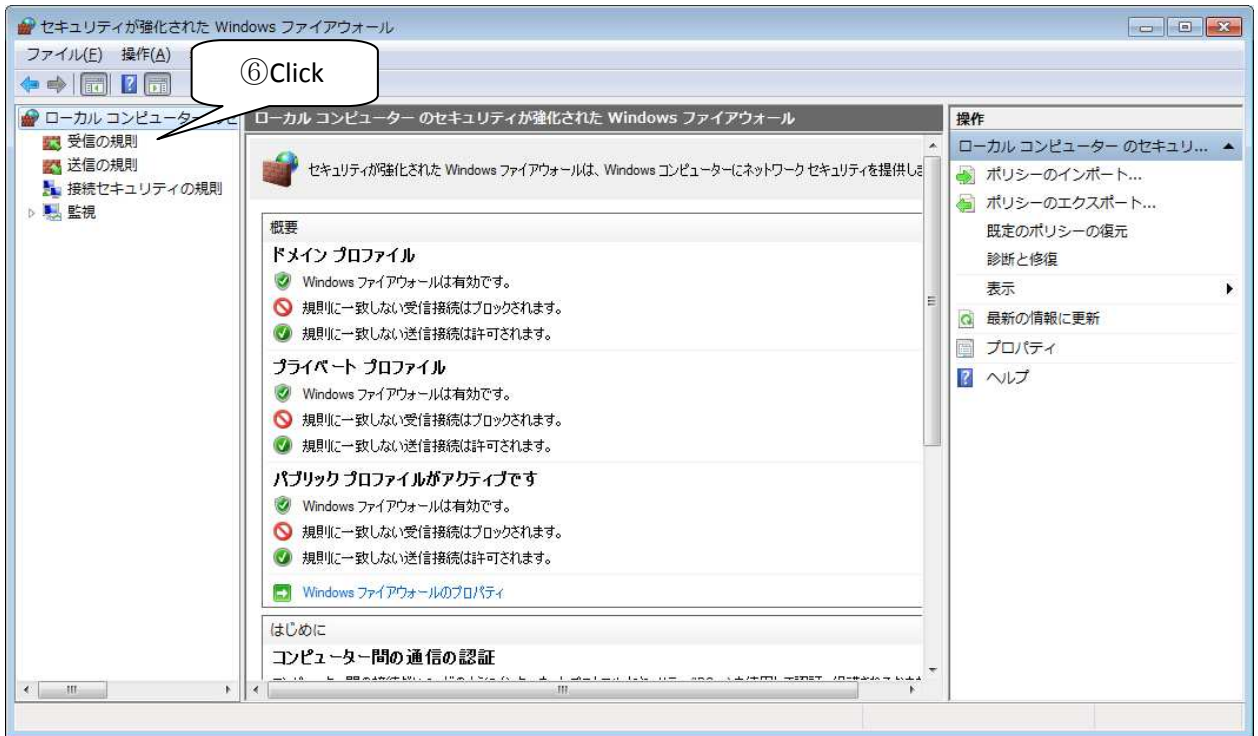
- ④ [Windows ファイアウォール]をクリックします。



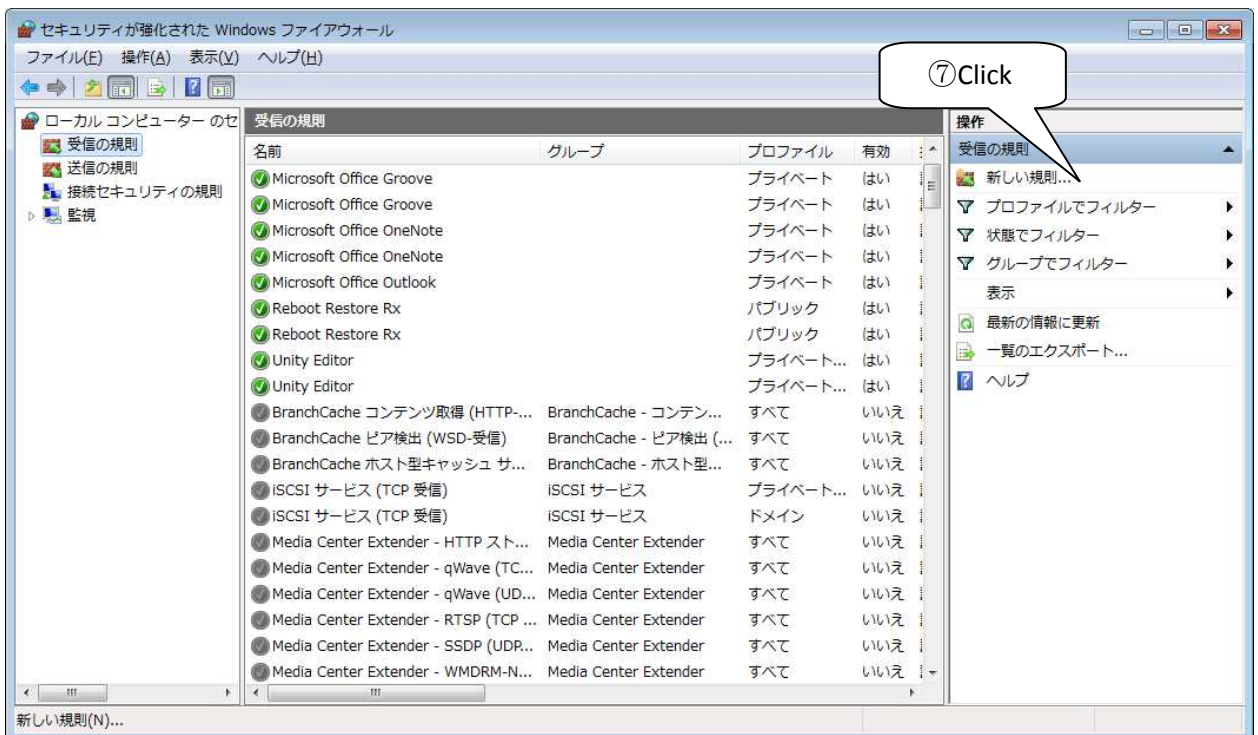
- ⑤ [詳細設定]をクリックします。



⑥ [受信の規則]をクリックします。



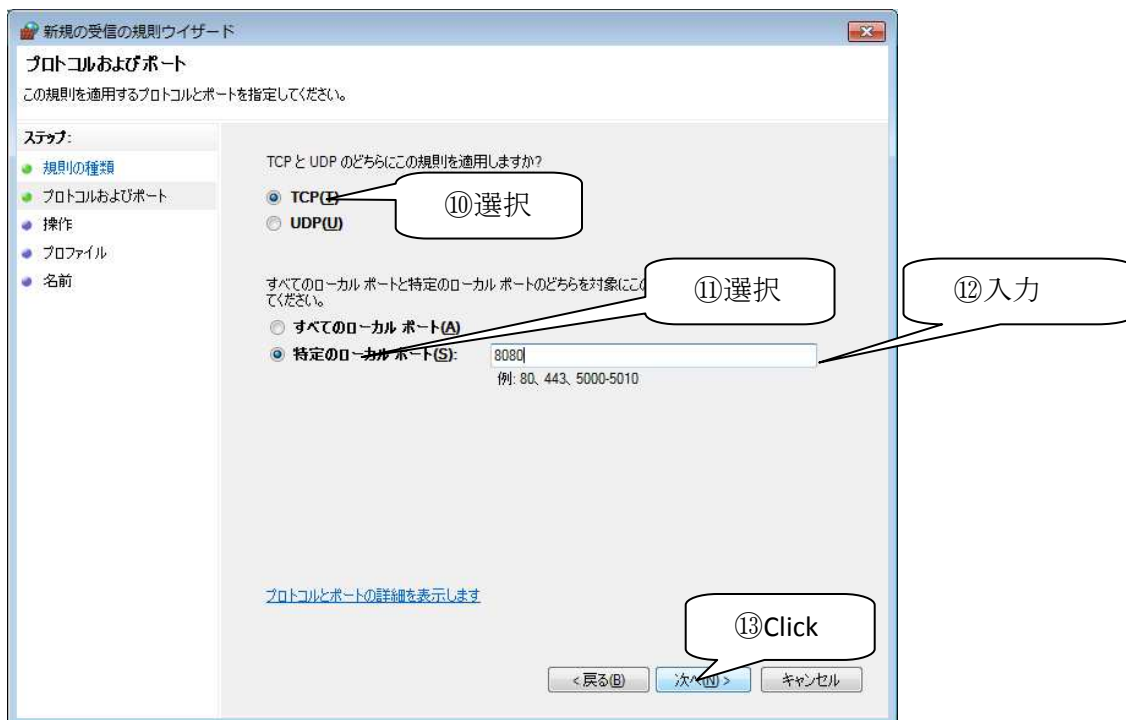
⑦ [新しい規則]をクリックします。



- ⑧[ポート]を選択します。
- ⑨[次へ]をクリックします。



- ⑩[TCP]を選択します。
- ⑪[特定のローカルポート]を選択します。
- ⑫手順 2-3-2 で“WEB Using Port No.”に設定した値を入力します。
- ⑬[次へ]をクリックします。



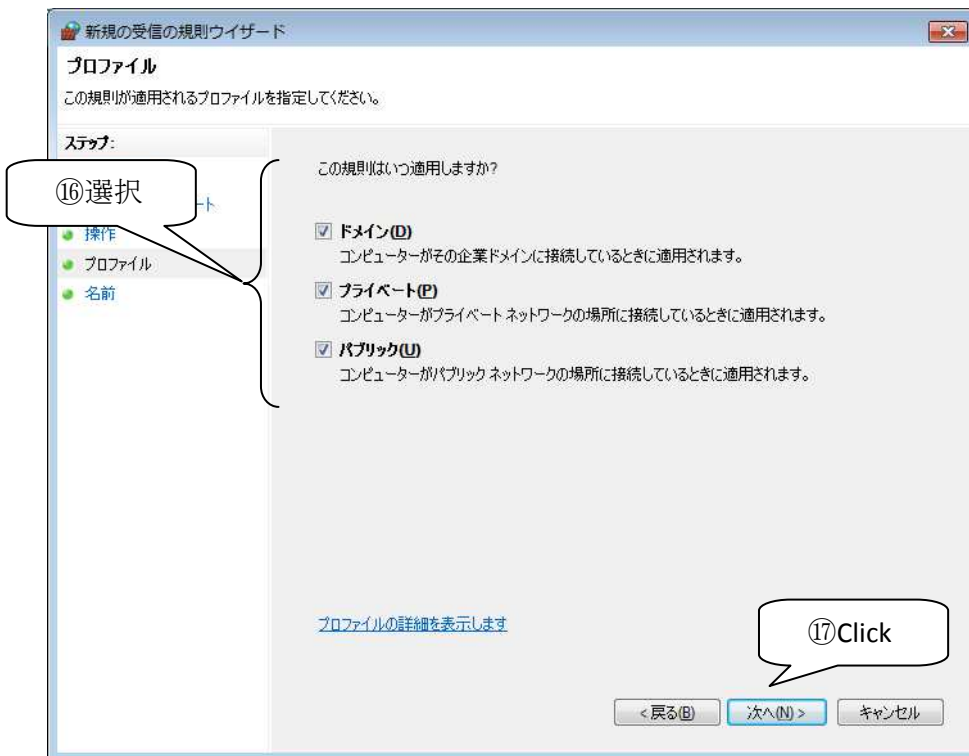
⑭[接続を許可する]を選択します。

⑮[次へ]をクリックします。



⑯ネットワーク環境に合わせてプロファイルを選択します。ネットワークの詳細がわからない場合は全て選択してください。

⑰[次へ]をクリックします。



⑱規則の名前を入力します。

⑲[完了]をクリックします。

新規の受信の規則ウィザード

名前
この規則の名前と説明を指定してください。

ステップ:

- 規則の種類
- プロトコルおよびポート
- 操作
- プロファイル
- **名前**

名前(N):
Class Demo Manager

説明 (オプション)(O):

⑱入力

⑲Click

<戻る(B) 完了(F) キャンセル

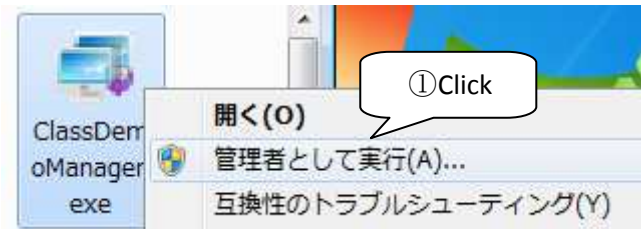
3. Class Demo Manager の機能

3-1. 管理者モード

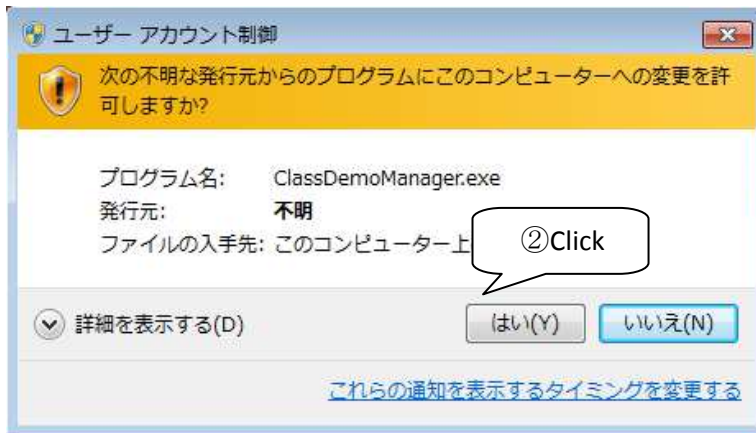
3-1-1. ソフトウェアを管理者モードで実行する

このソフトウェアを通常起動するとクライアントモードで開始します。管理者モードで起動するには管理者として実行する必要があります。

- ① プログラムのアイコン上で右クリックし、[管理者として実行]をクリックします。



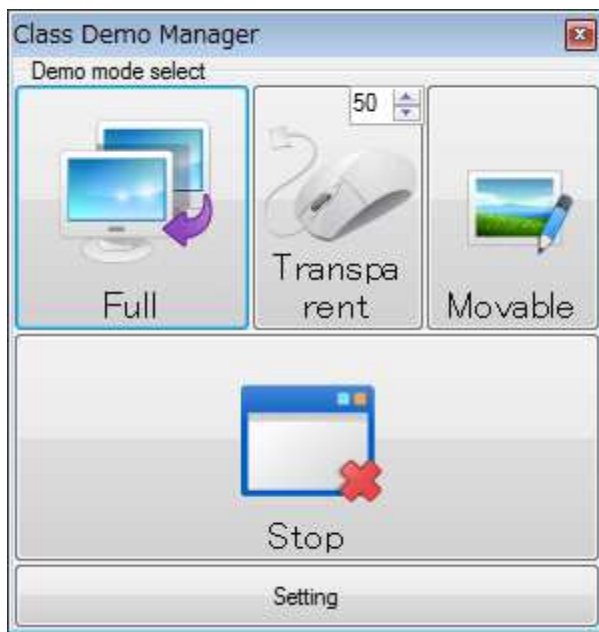
- ② ユーザーアカウント制御メッセージが表示されたら[はい]をクリックします。



管理者ユーザーでない場合は管理者ユーザーのパスワードを入力する必要があります。



管理者モードで起動するとこのウィンドウが表示されます。



これらのボタンの機能は次の章で説明します。

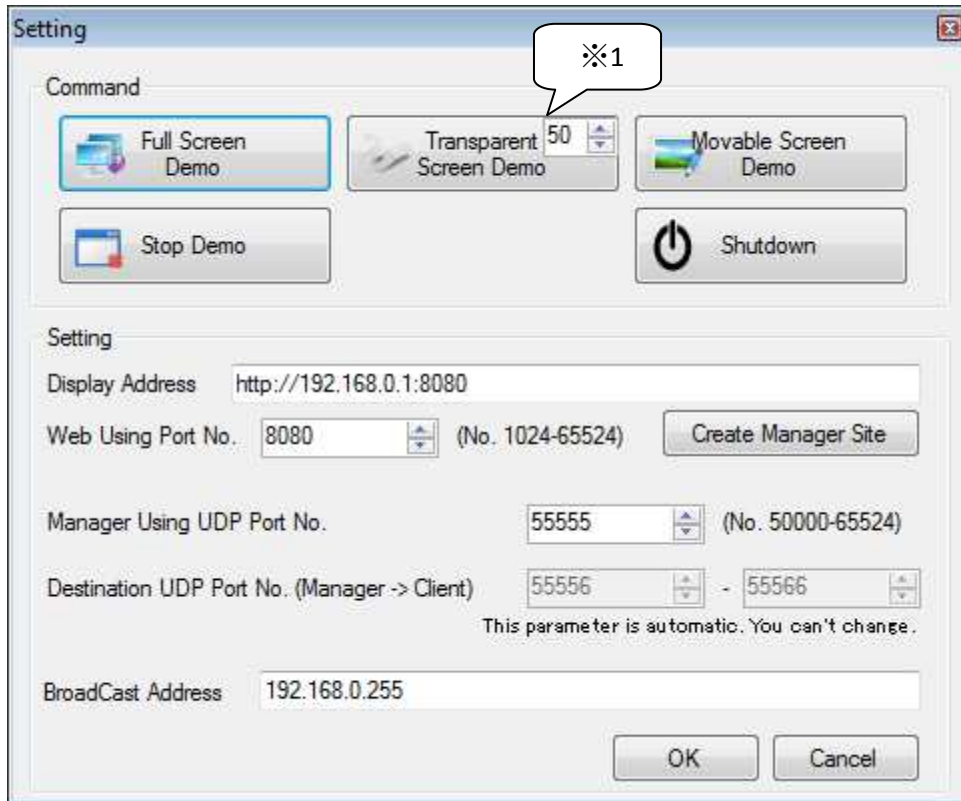
[Full] は [フルスクリーンモード]

[Transparent] は [透過スクリーンモード]

[Movable] は [通常ウィンドウモード]

[Stop] は [デモの停止] です。

3-1-2. ソフトウェア設定情報



Command

- Full Screen Demo(フルスクリーンモード)

[Full Screen Demo]をクリックするとクライアントに管理者の画面がフルスクリーンで表示されます。

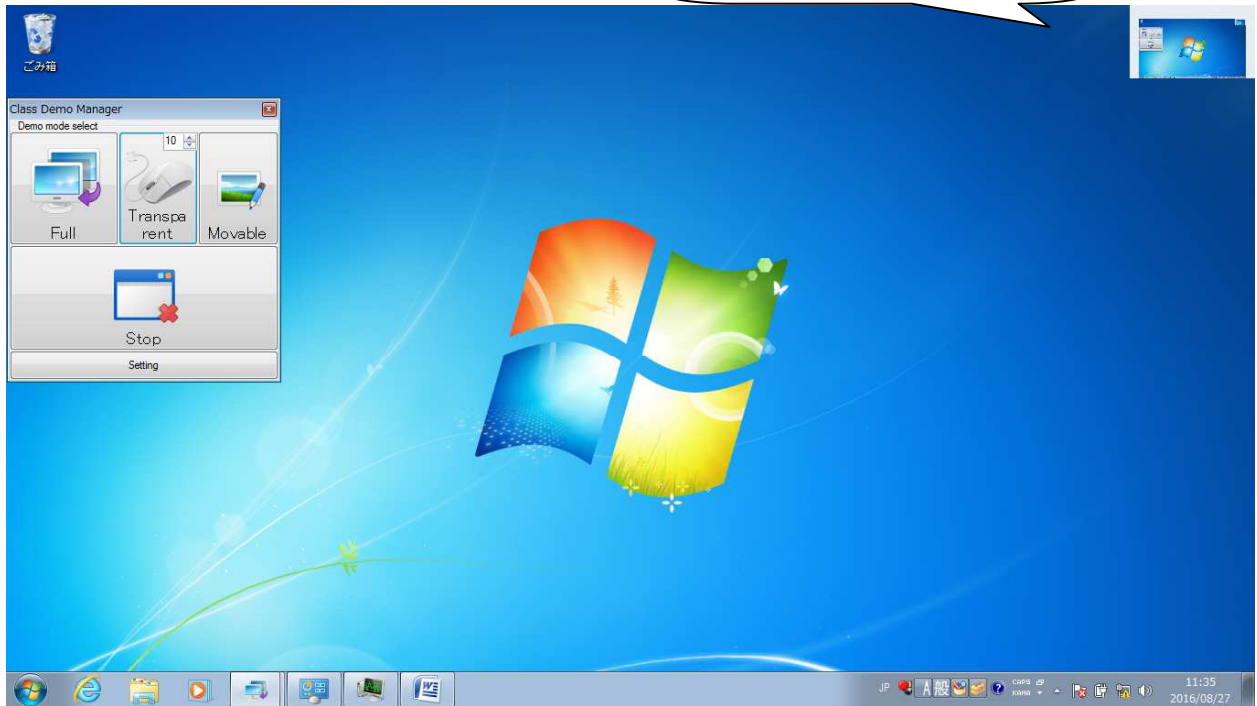
- Transparent Screen Demo(透過スクリーンモード)

[Transparent Screen Demo]をクリックするとクライアントの右上に小さな透過スクリーンが表示されます。

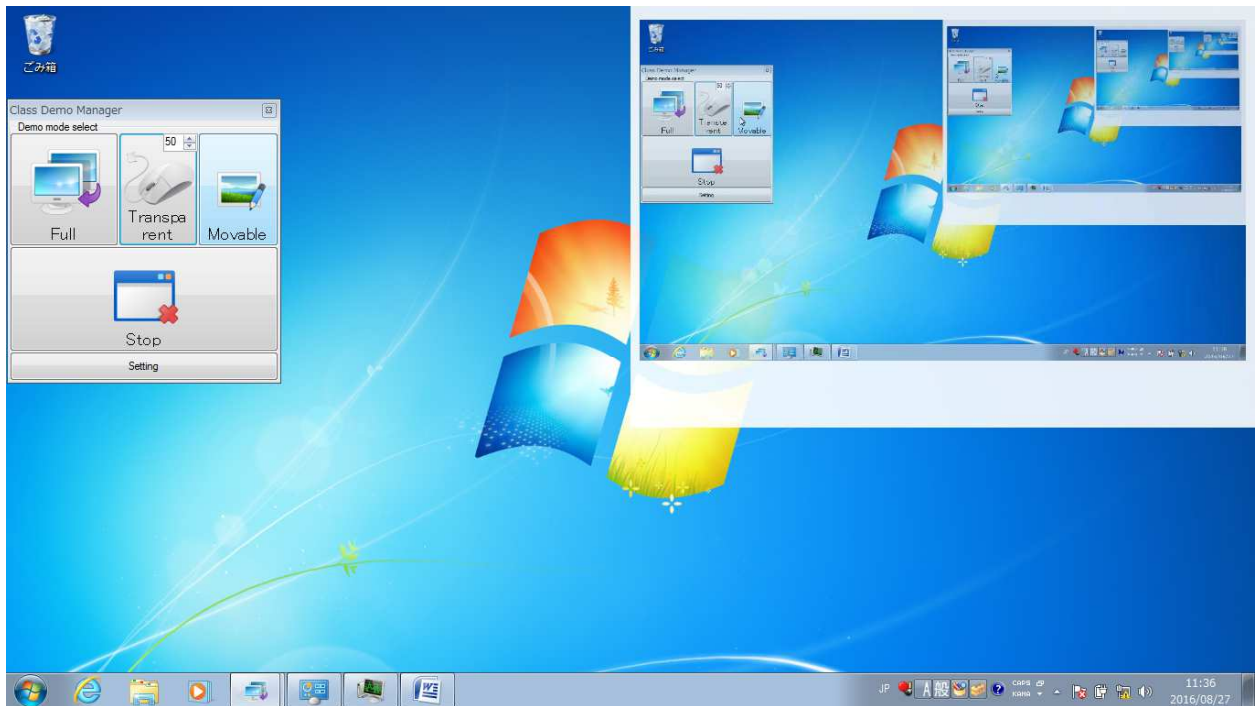
※1 この数値入力ボックスはスクリーンのサイズになります。範囲は10～100%です。

例: 10%

これが透過スクリーンです



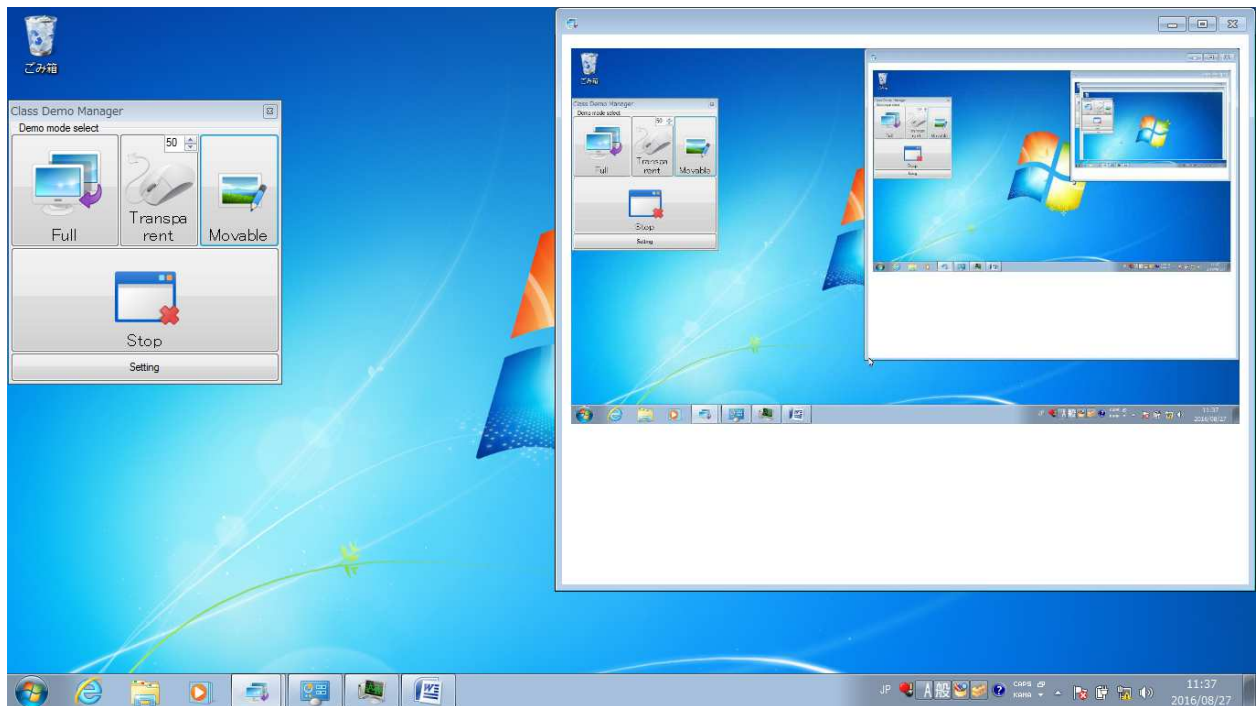
例: 50%



(上記は管理者とクライアントを同一コンピュータで実行しているためクライアントに自分自身の画面が入れ子で表示されている状況です。)

- Movable Screen Demo(通常ウィンドウモード)

[Movable Screen Demo]をクリックすると通常のウィンドウで管理者の画面が表示されます。ウィンドウはサイズ変更や移動が可能ですが閉じることは出来ません。



- Stop Demo(デモの停止)

フルスクリーン・透過スクリーン・通常ウィンドウでのデモンストレーションを終了するときには[Stop Demo]をクリックします。モードを変更する場合はデモの停止は必要ありません。

- Shutdown(コンピュータの強制シャットダウン)

[Shutdown]をクリックするとクライアントのコンピュータにシャットダウンが指示されます。一度実行してしまうとシャットダウンを中止することは出来ませんので注意してください。

Setting

- Display Address

この設定はデモが開始されたときにクライアント側で表示されるアドレスになります。そのため管理者コンピュータのアドレスとポートを設定する必要があります。

- Web Using Port No.

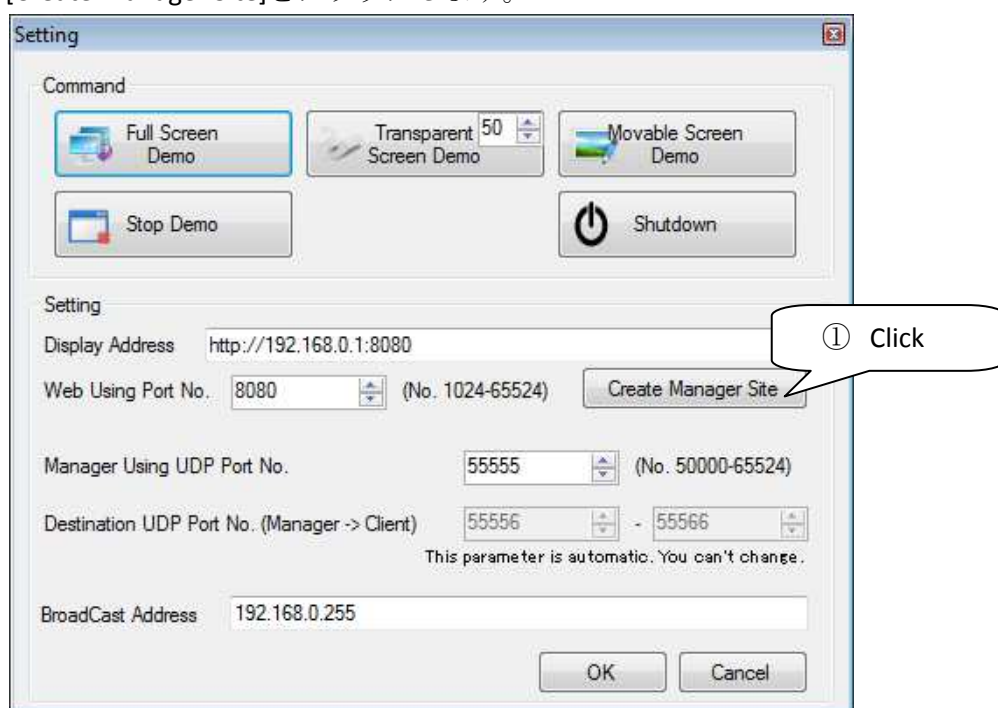
これは管理者コンピュータの **Web** で利用するポート番号になります。通常、変更は不要です。

- Create Manager Site(管理者コンピュータのみ)

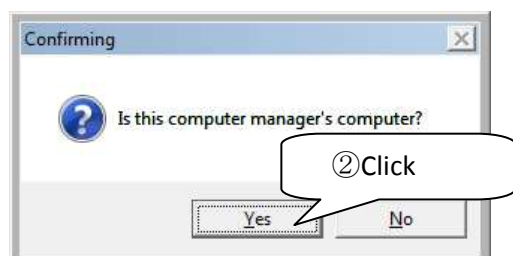
[Web Using Port No.]で指定されたポートで管理者画面表示用 **WEB** ページが作成されます。

作成手順

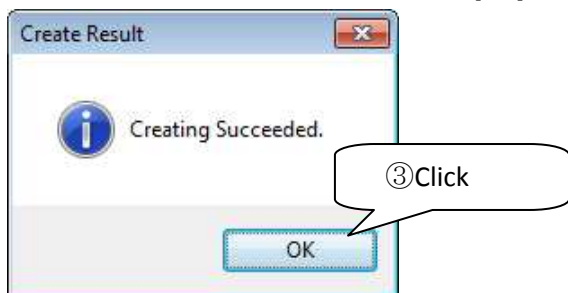
① [Create Manager Site]をクリックします。



② 管理者コンピュータであるかの確認メッセージが表示されますので[Yes]をクリックします。



③ 作成成功メッセージが表示されたら[OK]をクリックします。



もしエラーメッセージが表示された場合は、インストール手順に漏れ、構成に不備がないか確認してください。

- Manager Using UDP Port No , Destination UDP Port No.(コマンド送受信に利用するポート No.)

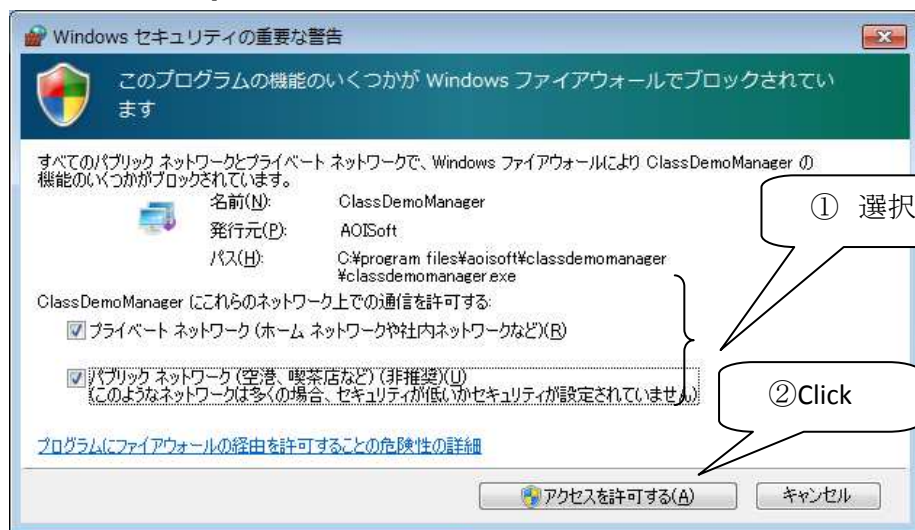
この設定は通常、変更する必要はありません。もし他のプログラムなどで同一のポートが利用されている場合のみ変更してください。あて先ポート番号(Destination UDP Port No.)は管理者利用ポート番号(Manager Using UDP Port No.)の後ろが自動的に割り当てられるため設定できません。

- BroadCast Address(コマンド送信先ネットワークアドレス)

管理者のコマンドを送信するあて先ネットワークアドレスを設定します。ここで指定するアドレスはブロードキャストアドレスとしてください。

3-2. クライアントモード

“2-4 タスクスケジューラの設定”が正しく設定できている場合、次回起動時にクライアントモードでソフトウェアが起動する際に Windows セキュリティの重要な警告が表示されます。[アクセスを許可する]をクリックしてください。



管理者がデモを開始するとクライアントモードは管理者のサイトを表示します。画面は 1 秒毎に更新されるため管理者はマウス操作などをゆっくり行ってください。

3-3. ProcessCheck.exe について

インストール先のフォルダには下記の2つの実行ファイルがインストールされます。

- ClassDemoManager.exe
- ProcessCheck.exe.

ProcessCheck.exe はクライアントモードで実行されたソフトウェア (ClassDemoManager.exe) の起動状態をモニタリングし、ソフトウェアが何らかの理由で停止・終了されている場合にクライアントモードの再起動を行うためのものです。

そのため、もしクライアントモードを終了したい場合には、始めに ProcessCheck.exe を終了してください。

ProcessCheck.exe は削除しても ClassDemoManager は実行可能です。クライアント側で勝手に停止して困る、エラーで停止して困る、ということがなければ削除してかまいません。